広報　清流に歴史と文化を映すまち

四万十

2012（平成24年）
12
No.92

中学生と高齢者が交流

市では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、住民どうしが日常的に支えあうような“地域”づくりを目指しています。

その一環として、小中学生を対象として、高齢者への理解を深め、お互いが地域の一員として支え合える存在になれるよう、取り組みを行っています。

11月８日、「一条の里」で中村中学校２年生と、高齢者はつらつデイサービス事業の利用者の皆さん（下田地区）が交流を行いました。

（7ページ中段）

今月の主な内容　Contents

▷ 市役所駐車場 24時間開放（試行）…… 2
▷ 幡多地区自主防災会連絡協議会 設立 …… 3
▷ 枚方市友好交流都市物産展 …… 4
▷ 幡多若手サミット …… 4
▷ 全国京都会議 …… 5
▷ いちじょこさん150年祭 …… 5
▷ 特集：保健・医療・福祉連携事業 …… 8
▷ わが市を語る …… 16

年末年始の市役所関係業務

一般業務
年末：12月28日(金)17時15分まで
年始：　1月　4日(金)8時30分から
(戸籍関係届出書などの夜間・休日窓口での受け付けは行っています)

図書館　☎(35)2923
年末：12月28日(金)18時まで
年始：1月4日(金)　9時から

郷土資料館　☎(35)4096
年末：12月30日(日)　17時まで
※ 入館は16時30分まで
年始：1月2日(水)　8時30分から

体育施設
●市民スポーツセンター　☎(34)2071
●具同体育センター　☎(37)4558
年末：12月28日(金)まで
年始：1月　4日(金)から

市民病院　☎(34)2126(代)
年末：12月28日(金)まで
年始：1月　4日(金)から

診療所受付時間
●西土佐診療所　☎(52)1011
年末：12月28日(金)まで
年始：1月　4日(金)から
●大宮出張診療所
年末：12月28日(金)まで
年始：1月　7日(月)から
●口屋内出張診療所
年末：12月27日(木)まで
年始：1月10日(木)から
●奥屋内へき地出張診療所
年末：12月18日(火)まで
年始：1月　8日(火)から

ごみ収集(普通)
●中村、具同地区
※収集日が大きく開きますがご了承ください。
年末：12月27日(木)まで
年始：1月7日(月)から
●東山、下田、東中筋、中筋、蕨岡、八束、後川、大川筋、富山地区
年末：12月28日(金)まで
年始：1月4日(金)から
●西土佐地域
年末：12月28日(金)まで
年始：1月4日(金)から

幡多クリーンセンター　☎(31)2600(溶融炉:上ノ土居)
年末：12月29日(土)16時30分まで
年始：1月4日(金)9時から

し尿処理
●衛生センター中村　☎(36)2464
年末：12月28日(金)まで
年始：1月　4日(金)から
●クリーンセンター西土佐　(31)9700
年末：12月28日(金)まで
年始：1月　4日(金)から

火葬場
幡多中央斎場　☎(43)0077
年末：12月31日(月)17時15分まで
年始：1月2日(水)　8時30分から

詳細については、それぞれ各施設、担当課までお問い合わせください。

問い合わせ先
(本　庁)☎(34)1111(代)
(総合支所)☎(52)1111(代)

12月より市役所駐車場24時間開放(試行)

現在、市役所駐車場は午前0時まで一般開放しているところですが、市民の皆さんや商店街等から強い要望もあり、12月1日(土)より平成25年3月31日(日)までの期間において、市役所駐車場(緊急車両前駐車場除く)の24時間開放を試行することとなりました。

駐車場利用の際は、マナーを守り近隣住民の迷惑行為とならないよう左記の事項について遵守していただきますようお願いします。

①長期間の駐車行為をしない(個人駐車場としての使用など)
②アイドリング等の騒音行為をしない
③市役所構内での器物損壊行為をしない
④飲酒運転をしない
⑤駐車区画外に駐車をしない
⑥駐車場内(スペース)でトラブルを起こさない

なお、試行期間実施終了後は、24時間開放時の運営について検証し、本実施が可能かどうか検討します。
※市の関連行事等のため駐車できない場合がありますのでご了承ください。

【問い合わせ先】
(市)総務課　行政管理係　☎(34)1804

南海トラフ巨大地震対策特別措置法制定を要請

南海トラフ巨大地震の対策を幡多6市町村で取り組む組織として設立した「幡多広域南海地震対策連絡協議会」（会長四万十市長）は、10月22日に高知県に、11月8日、9日には、政府（内閣府）、地元選出国会議員に対し防災・減災事業の積極的かつ重点的な整備について要請を行いました。

南海トラフ巨大地震におけるハード・ソフト対策について市町村の負担を軽減するため、国の支援を充実させるなどの特例措置を含んだ南海トラフ巨大地震対策特別措置法の早期制定や、震災時の命の道となる四国横断自動車道や国道56号の整備促進などを強く訴えてきました。

内閣府復興庁 今野副大臣へ要請

高知県危機管理部長へ要請

幡多地区自主防災会連絡協議会 設立

5月の幡多広域南海地震対策連絡協議会の設立に続き、幡多6市町村の民間（自主防災会）で組織する「幡多地区自主防災会連絡協議会」が11月23日に設立されました。

この協議会は、幡多地域における自主防災組織の連携を高め、地震・津波に関する情報を共有するとともに、広域での連絡調整により、地域の防災体制の強化を図ることを目的としており、このような組織化は県下で初めてとなります。

また、総会後には本市の地震・津波対策アドバイザー、都司嘉宣先生による記念講演が行われ、参加者は熱心にメモをとっていました。

防災対策は住民自らの自助、地域コミュニティによる共助、そして国や地方公共団体等による公助がバランスよく機能して有事の際の効果が発揮されるものです。

これからも「幡多は一つ」という考えのもとで、民と官が連携した防災対策を行っていきます。

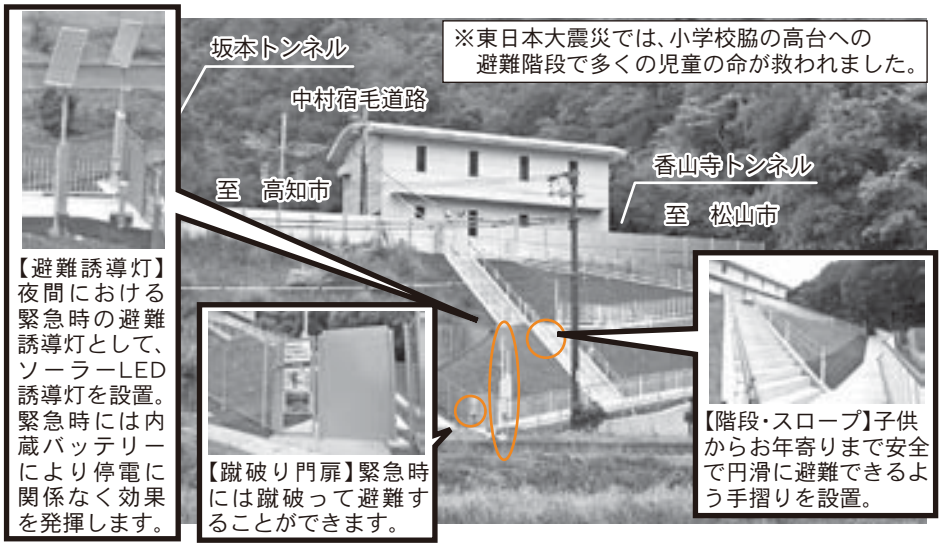
同 記念講演

幡多地区自主防災会連絡協議会 設立総会

【問い合わせ先】（市）総務課 防災対策係　☎（35）2044

緊急避難路として利用可能な中村宿毛道路 点検用通路 完成

中村河川国道事務所では、南海地震に備え、中村宿毛道路（坂本）の管理用敷地を津波発生時の緊急避難路として有効に活用できる道路点検用通路を、地元や市の要望により、建設しました。



枚方市 友好交流都市物産展

11月10、11日、大阪府枚方市で「友好・交流都市物産展」が開催されました。

物産展は毎年11月に、北海道別海町や沖縄県名護市など、枚方市の7つの友好都市・市民交流都市が集まって開催され、四万十市も毎年参加しています。

今年は、枚方市制施行65周年を記念したイベント「くらわんか産業いきいきまつり」の一環として、地元産業イベントや農業まつりとの同時開催。淀川河川敷の会場には2日間で2万7千人もの人が訪れ、たいへん賑やかなイベントとなりました。

四万十市のブースは友好都市ゾーンでもひときわ大きく、四万十川の幸のほか、四万十牛コロッケ、四万十ヒノキまな板、焼き栗、農商工連携開発商品などを販売。特産品を売り出す声に多くの人が足をとめ、にぎわいをみせていました。

田中市長も参加した10日午後には、関西在住の「四万十市ふるさと応援団員」やそのご友人などもたくさんご来場。また、竹内脩（おさむ）枚方市長もご多忙の中、駆けつけてくださいました。

そのほか、訪れる人の中には四万十市出身者やゆかりのある人も多く、パンフレットやガイドブックを見ながら、四万十の話に花を咲かせ、「懐かしいね」「ドラマも観てますよ」など顔をほころばせてくれました。

【問い合わせ先】
（市）企画広報課 企画調整係
☎（34）1129

竹内脩枚方市長（右から2人目）、同市在住の本市出身者らと

終日賑わいをみせた四万十市ブース

中村商工会議所青年部主催 幡多若手サミット
尾﨑知事を市役所に迎え開催

いま幡多の若者が元気です。若者特有の斬新な発想等で、「はたフェス」のように、従来は考えつかなかったような、いろんな分野で活動を開始しています。

11月18日、四万十市役所会議室に尾﨑知事をゲストに迎え、こうした若者グループを中心とした、発表、交流会が開かれました。約100人が参加。主催は中村商工会議所青年部。

最初に田中市長が歓迎の挨拶をしたあと、尾﨑知事が高知県の産業振興計画について説明。そのあと、地元四万十市からは、中村商工会議所青年部が大友啓史監督（当日も途中参加）を迎えて講演会、映画上映をした取り組みを報告したほか、大宮産業、奥四万十楽しまんとプロジェクト（西土佐商工会）も発表しました。

また、本市の青年団を中心にして全県的な広がりを見せているグループship for ship（にぎわいボニート）が、「みちのくよさこい」に参加をしたのをきっかけにできた縁で、東北震災地支援として、宮城県名取市に漁具倉庫を建設した経過の報告もありました。

いずれの報告にも共通をするのは、人と人の出会い、つながりを大切にし、お互いに支え合っていくことによって、いろんな事業や活動が前に動き出すということでした。交流を通して多くの勇気、刺激をもらいました。

全国京都会議

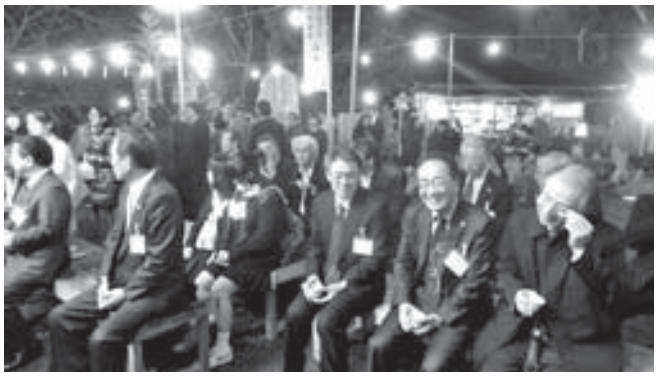
11月22日(木)、一條大祭に合わせて京都にゆかりのある市町が集まる第28回全国京都会議が本市で開催され、全国から20市町、約60人が出席しました。

この会議は昭和57年、一條神社が大祭で奉納する御神火を京都市の下鴨神社で受け取った際、京都市観光協会を表敬訪問したのをきっかけにして交流が始まり、3年後の昭和60年に発足したものです。

会議は今年が28回目ですが、本市での開催は3回目。通常総会で新たに3市町の加入が承認され、全国で51市町が加入していることになります。

会議は、通常総会と交流会、翌日のエキスカーション(研修旅行)の1泊2日の日程で行われ、一條神社への参拝や勝間沈下橋観光、観光遊覧船での昼食などでも、参加者の皆さんに存分に、小京都中村の文化や四万十川の自然を堪能してもらいました。

【問い合わせ先】
(社)四万十市観光協会
☎(35)4171


一條神社への参拝

通常総会(新ロイヤルホテル四万十)

いちじょこさん150年祭

今年の一條神社創建および一條大祭開始150周年という節目を記念して、四万十市商店街振興組合連合会を中心に構成されている「いちじょこさん150年祭実行委員会」が主催となり、さまざまなイベントが実施されました。

11月3日、天神橋商店街アーケード内で将棋大会を開催。森雞二9段、島井咲緒理2段を迎えての指導対局を行ったこともあり、多くの将棋ファン、見学者に来ていただきました。

11月3日～25日の間には、お宝博物館として、商店街内の各商店が、それぞれのお宝を店頭に飾りました。

11月17日には天神橋商店街アーケード内にて、「四万十のおきゃく」を開催。商店街の中に畳を敷いて、幡多ならではの食材を使った料理や、うまいちやフェスタで出展した料理、お酒でおもてなしをしました。当日は芸子さんやパフォーマーをお招きし、お座敷遊びを皆さんに体験していただき、大いに盛り上がりました。

11月22日(木)は一條神社境内で、四万十玉姫の会が参拝客に、お茶・菓子(新作・玉姫まんじゅう)でおもてなしをしました。

11月24日(土)はいちじょこさん物産市として、一条通商店街で、幡多の特産品・物産・飲食のほか、沖縄の物産も並びました。また、一條太鼓、市立中村中学校音楽部、七色トライアングル、女爺華―ず(めじかーず)、ご当地アイドルA・D・P、REVEが登場し、会場を盛り上げました。

いちじょこさん将棋大会(11月3日)

四万十のおきゃく(11月17日)

いちじょこさん物産市(11月24日)

物産市ではぶしゅかんのゆるキャラ“ぶしゅまろ”がデビュー

市産材利用 東京都港区と協定締結

四万十市は、東京都港区の行う「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」に参加するため、10月31日、港区と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結しました。

この制度は、木材が二酸化炭素を固定する機能を持つことに着目し、港区内の建築物に国産材の利用を促進するもので、建築主に対して国産材の使用量に相当する二酸化炭素固定量の認証や協定自治体から搬出された協定木材の利用を促進するものです。

市では、今回の協定が市産材の利用促進につながればと期待を寄せています。

右：武井雅昭港区長

市産材利用促進方針策定

市では、公共建築、公共土木工事において市産材を率先して利用していくための「四万十市産材利用促進方針」を策定し、11月12日(月)、香寺山市民の森で開催された「こうち山の日」の植樹イベントにおいて、幡多管内の他の5市町村とともに策定宣言を行いました。

市内で産出された木材の需要を拡大することは、林業の活性化を通じた森林の有する多面的機能の持続的な発揮や中山間地域の活性化に貢献するものであると考えています。

市産材利用促進事業

市では、新たに建築される住宅のうち、一定量以上の市産材を使用し、所定の条件を満たした住宅に対して、市産材の購入にかかった費用の一部を、施主に助成する制度を実施しています。ぜひご利用ください。

■補助金額

上限150万円

■補助対象要件

1. 市内に住所を有する人、または市内に住所を有することとなる人
2. 市税を滞納していないこと
3. 建築延べ床面積50㎡以上であること
4. 市内に本拠を置く建築業を営むものに依頼し、建築される住宅であること
5. 1坪(3.3㎡)当たり0.4立方メートル以上の市産材を使用すること
6. 着工前に事業に関する申請を行うこと

※市産材の取り扱いについては、下記の問い合わせ先でご確認ください。

■次の場合はご注意を!!

1. 既に事業申請済みの住宅について、工期が年度をまたぐ場合。
2. これから事業申請を考えている住宅の中で来年の3月までに着工を予定する住宅について、工期が年度をまたぐ場合。

以上の場合については、来年の1月15日までに必ず左記の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】
(本　　庁)林業課
☎(34)1118
(総合支所)西土佐林業分室
☎(52)1111

本市への行政視察(11月)

日　時	視察団体名	人　数	視察内容
11月13日(火)	大分県国東市区長会	約100人	新庁舎建設について／大宮産業の取り組みについて
11月14日(水)	青森県弘前市議会	議員8人＋随行1人	災害時における情報連絡手段の多重化対策について
〃	土佐市	15人	新庁舎建設について

【問い合わせ先】(市)総務課 行政管理係 ☎(34)1804　(市)議会事務局 ☎(34)5071

中学生120人が認知症サポーターになりました！

市では、私たちが暮らす四万十市を認知症になっても安心して暮らせるまちとするよう、認知症の理解の輪を広げる活動を行っています。その活動の一つとして、認知症サポーターを養成し、認知症の人やその家族にさりげない手助けができる「支援の輪」を広げていく取り組みを進めています。

9月24、25日には中村中学校2年生120人を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症についての基本的な知識の勉強、クイズや寸劇体験を通して、認知症の人だけではなく、自分たちの祖父母や高齢者への思いやりの心などをともに学び合うことができました。

※表紙の写真で、各生徒の腕に巻かれているのは、認知症サポーターの証である「オレンジリング」です。

●認知症サポーターとは

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことで、認知症サポーター養成講座を受けた人がなることができます。

たとえば、友人や家族にその知識を伝える、できる範囲で手助けをする、といったように活動内容は人それぞれとなっています。

地域の福祉施設訪問による高齢者との交流活動

サポーターとなった120人の生徒たちには、認知症の方に限らず、多くの高齢者と交流する機会が持てるよう、現在、地域の施設や介護予防教室へ出かけ、高齢者の方々と交流を行っています。

お互いに普段関わる機会も少ない世代のため、最初は緊張してぎこちない様子もありますが、生徒たちが考えてきてくれたゲームなどを通してお互いに楽しく、充実した時間を過ごすことができています。

このような取り組みを通じ、子どもたちには、誰もが迎える「老い」について学ぶとともに、相手を思いやることの大切さを改めて感じることができればと考えています。また、高齢者においても、若い世代との交流を通じて、活気を持ち、豊かな経験や知識を伝えていく場となればと思います。

今後も順次、グループホームや特別養護老人ホームなどの施設や、介護予防教室の利用者との交流を行っていく予定です。

折鶴を一緒におってみよう！

紙風船バレー
若いもんにはまだ負けんよ！

一条の里交流会での感想

●ひ孫に会えたような気持ちになり、うれしかった。これを励みに、これからも元気におりたい。（佐竹清栄さん）

●若いパワーをもらった。これからも長生きして頑張ろうと思う。（和田喜代子さん）

生徒の感想

●お年寄りの人は接し方が大事なんだなと思った。耳が聞こえにくい人や聞き取りにくい人もいたけど、楽しくできて良かった。会話もちゃんとできたし、笑ってくれたりしたので楽しかった。しうれしかった。

認知症予防
できることから始めよう！～水・メシ・ウン・運～

ウン 自然な排便に努めましょう

「便秘」は、普段の体調をくずし認知機能を低下させます。

高齢者が便秘を起こしやすいのはなぜ？

①大腸機能の低下
水分が腸に吸収されすぎて、便が固くなり排便までの時間が長くなります。

②筋力の低下
便を押し出す（いきむ）力が弱くなります。また、おなかの筋力が低下すると、内臓が下がり気味になり、便秘になりやすくなります。

③水分不足
便が硬くなってしまうので、排便までの時間が長く、力んでも排便しにくくなってしまいます。

④食事量の低下
食べる量が少ないと、大腸の機能が衰え、便を押し出す力が弱まり便秘になります。

自然な排便のための工夫

①水分をとる
●のどが渇いた、と感じた時にはすでに脱水ぎみになっています。
●コップ1杯程度（約200㎖）の水分を1～2時間に一度飲むなどの習慣をつけてみましょう。

②食べる工夫
●繊維質の豊富な食品（雑穀、豆類、イモ類など）
●マグネシウムの多く含まれている食品（ひじき、ホウレンソウ、ごまなど）
●腸内の善玉菌を増やす（ヨーグルト）

③運動の工夫
●ウォーキング
●ラジオ体操
●家事仕事（掃除、洗濯、料理など）

★次回（1月号）は運（運動）について解説します★

【このページについての問い合わせ先】（市）保健介護課 地域包括支援センター ☎(34)0170

特集 四万十市の保健・医療・福祉連携事業

健康福祉地域推進事業

急速に進行する高齢化社会への対応として、地域の皆さんと協働し「高齢となっても住み慣れた地域でいつまでも元気に健康で安心して暮らすことができる地域づくり」を進めるため、本年4月から取り組んでいます。

■事業内容

この事業は、地域のみんなが元気(健康)に、活き活き(生きがい)と、助けあう(支えあう)ことを目標に次の事業に取り組みます。

○健康づくり事業

地域ぐるみで健診の受診促進、健康状態の把握、学習会の開催など健康に対する意識を高めていきます。

○介護予防、高齢者・障害者 生きがい交流事業

要介護状態にならないために、簡単にできる体操や学習を通じて、地域の人々と交流を深めながら健康状態を維持していきます。

○支えあいの地域づくり事業

地域内で困っている人を把握し、地域が見守り、支援等を行う支えあいの体制を地域内につくります。

■実施状況

事業実施の母体となる地区健康福祉委員会は86の地区(11／1現在)で設立され、各種事業を行っています。

活動のサポート体制としては、従前より地域福祉の推進に取り組んできた社会福祉協議会のほか、市の地域づくり支援職員(現在は16地区に35名配置)もこの地区組織の設立から運営まで積極的に支援を行っています。

【問い合わせ先】
(市)保健介護課 長寿介護係 ☎(34)1165

地域とともに活き活き訪問健診・健康相談事業

8月から市民病院の医師と保健介護課の保健師が連携し、地域へ出向くミニ健診「地域とともに活き活き訪問健診・健康相談事業」を開始しました。

健診の内容は、保健師による健康相談や血圧等(血糖値、心電図含む)の測定と医師による問診です。

この事業では、医師が直接、問診のうえ健康相談に乗ることで、潜在的な病気や生活習慣病等の早期発見、早期治療に結び付け、当該地域の健康力を底上げしようとするものです。

■実施状況

今年度は、初めての取り組みであることから市内の地区健康福祉委員会を設立している地区等のうちから30地区を選定し実施しています。

○11月20日までの実績:14地区(155名)

井沢団地(23)、安並団地(13)、古津賀第二(12)、古津賀第一(10)、荒川(12)、名鹿(8)、森沢(16)、竹屋敷・上古尾・下古尾(16)、勝間(9)、間崎(14)、三ツ又(11)、常六(11)

○今後の予定:16地区(315名)

今後は、健診状況を整理したうえで、その結果をもとに、これからの健康増進に役立てていただけるよう工夫していきます。

【問い合わせ先】
(市)保健介護課 保健衛生係 ☎(34)1115

脳ドック検診費用助成事業

平成23年度から、くも膜下出血や脳梗塞などの脳卒中の予防と早期発見・早期治療の促進を図るため、市民病院と連携し、脳ドック検診費用の助成事業を行っています。

検診内容は、問診、MRI、MRA、頸動脈エコーで、50歳以上の希望者には認知症の簡易判定も行っています。

昨年度の検診受診者へのアンケート結果では、何らかの指摘を受けた人のうち11%の人が通院治療を開始、9%の人が生活習慣の改善を始めています。また、63%の人が定期的な確認をすることにしたと回答しており、多くの人が脳ドックの受診を契機として疾病予防の行動に結び付けていただいていることが分かります。

■実施状況

・平成23年度:190人
・平成24年度:240人(予定)
※今年度の申請受付は終了しています。

【問い合わせ先】
(市)保健介護課 保健衛生係 ☎(34)1115

高齢者口腔ケア事業

平成23年度から、在宅で生活されている介護保険認定者で要介護3以上の高齢者を対象に、虫歯、歯周病の予防、また高齢者の死亡原因の第2位となっている肺炎の中でも大きな割合を占める誤嚥性肺炎を予防すること等を目的に口腔ケア事業を行っています。

■事業内容

四万十市の登録歯科医師・歯科衛生士、歯科保健推進員が対象者の家庭を訪問し、歯および口腔の健康を保てるように口腔ケアを行います。

1人あたり最長6ヶ月(歯科医師2回、歯科衛生士24回が上限)で、自己負担金は、歯科医師　200円／回、歯科衛生士　100円／回です。

■利用者の声

・口の中がきれいになり、気持ちが良くなって食欲がでた。
・表情が柔らかくなり、大きな声が出せるようになった。
・口臭がなくなった。
・口内と周辺の乾燥がなくなった。
・歯磨きや、うがいの仕方、入れ歯の正しい取り扱い方が理解できた。
・飲み込みが良くなったことで「むせること」が少なくなった。
・痰が出やすくなったし、痰の吸引回数も減った。
・口の動きが良くなり、唾液量が増えて味覚がもどった。

虫歯や歯周病予防だけでなく、誤嚥性肺炎を予防するなど、いのちを守ることに繋がる口腔ケア。高齢者だけでなく市民全員に「歯と口の健康づくり」を広めていきたいと考えています。

【問い合わせ先】
(市)保健介護課 長寿介護係　☎(34)1165

不妊治療費等助成事業

平成22年度から、お子さんに恵まれないご夫婦に対して保険診療適用の不妊治療費および人工授精に要した費用を助成する事業を行っています。

今年度は平成24年4月治療分から該当します。該当する人はぜひご利用ください。

■助成内容

・保険診療適用不妊治療
1夫婦1年度内、3万円を上限として通算5年(3年目からは医師が認めたもの)。

・人工授精
1夫婦1年度内、3万円を上限として通算2年。

■実績

・平成22年度:12組
・平成23年度:16組

【問い合わせ先】
(市)福祉事務所 家庭福祉係　☎(34)1801

「うつ」「ひきこもり」の相談・支援

本年4月から「精神障害」、「発達障害」「うつ」、「ひきこもり」などへの支援を充実・拡充させるため、総合的な相談窓口を福祉事務所に開設しました。

そして9月には、主に引きこもりの方やその家族への支援を行うため、医療機関、学校、生活・職業訓練を行う事業所などの関係機関で若者等支援協議会を結成し、個々のケースへの対応を図っています。

また、「発達障害」を有し、社会生活を送るうえで困難を抱えている人に対しても、関係機関との個別ケース会議を開催し、複合的な支援を始めました。

ぜひご相談ください。

【問い合わせ先】
(市)福祉事務所 社会福祉係　☎(34)1120

子育て支援センター「ぽっぽ」

当施設は、子育てをしている人、これから子育てをする人に利用していただく施設です。育児で悩んだとき、同年齢の子どもを持つ母親同士で話がしたいとき、気軽にお越しください。

■こんな活動をやっています

〔親子ふれあい活動〕
○1・2・3歳児対象(ぽっぽ)
ふれあい遊び、製作、体育遊び、クッキングなど
○妊婦、0歳児対象(ぴよちゃんクラブ)
簡単なおもちゃの制作、親子のふれあい遊びなど

〔フリーデー〕
○活動を行っていない日の午前と、毎日午後は利用していただけます。

〔育児相談〕
○電話や直接来所しての相談。
○活動の中での保護者同士の悩み相談、情報交換。
○家庭相談員による育児相談。(毎月1回)

〔その他の活動〕
誕生日会、運動会、クリスマス会、遠足など

■参加者の声

・育児の悩み事を聞いてもらえてすっきりした。
・家で二人だとつまらない。ぽっぽへ行くと楽しい。
・家でも料理のお手伝いをするのが好きになった。

【問い合わせ先】
(市)福祉事務所 保育所係　☎(34)1780

選挙についてのお知らせ

衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の投票日は12月16日(日)です

◎投票のできる人

1. 今回の衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の選挙人名簿の登録基準日は12月3日となっていますので、平成24年9月3日までに四万十市に転入届をして、引き続き四万十市に居住している人。
2. 平成4年12月17日までに生まれた人。

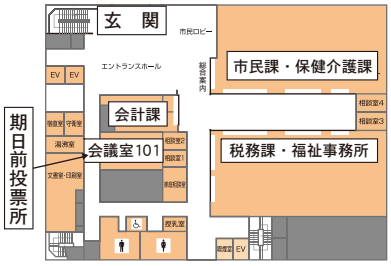
◎市内転居者の投票所

市内で住所を変わり、平成24年11月22日(木)以降に転居届をされた人は、前の住所の投票所へ行ってください。

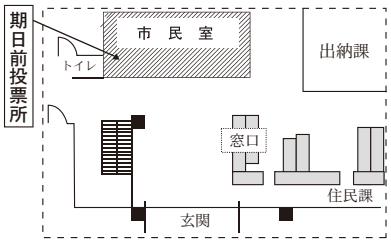
◎期日前(不在者)投票

1. 投票日に投票所へ行って投票できない人は、衆議院議員総選挙は12月5日から15日、最高裁判所裁判官国民審査は12月9日から15日まで毎日午前8時30分から午後8時まで、**四万十市庁舎1階会議室101及び四万十市西土佐総合支所1階(左図参照)で投票できます。**この場合、宣誓書に申立てが真正であることを記載していただきます。

＊期日前投票とは:投票当日の投票所のように**投票用紙をそのまま投票箱に投函できる投票です。**ご利用ください。



市役所期日前投票所



西土佐総合支所期日前投票所

2. 不在者投票期間に市外に滞在して市外の市町村選挙管理委員会で投票しなければならない場合、市選挙管理委員会に対して早めに投票用紙等の請求はできますが、市選挙管理委員会が投票用紙等を発送する日は衆議院議員総選挙公示日の前々日12月2日、国民審査については、12月9日からです。

◎郵便による在宅投票制度

☆身体障害者手帳または戦傷病者手帳の所持者、介護保険の被保険者証に要介護状態区分が要介護度5であると記載されている人で、**市選挙管理委員会より郵便投票証明書を交付された人**は郵便による在宅投票ができます。

☆投票日の4日前(12月12日)までに、郵便投票証明書を同封し市選挙管理委員会に投票用紙等の交付申請をしてください。

☆郵便投票証明書を交付された人のうち

・身体障害者手帳に両下肢または視覚の障害の程度が1級と認定されている人

・戦傷病者手帳に両下肢または視覚の障害の程度が特別項症から第2項症と記載されている人

は、あらかじめ市選挙管理委員会に届け出た代理記載人によって代理投票することができます。

◎代理投票

身体の故障等で字の書けない人も投票日に投票所にいけば、代理記載の補助者によって投票ができます。

◎入場券

投票所入場券を発行しますので投票日当日、投票所に持参してください。入場券を紛失または届いていない場合でも、選挙人名簿に登録されている人であれば、入場券がなくても投票できます。

◎投票用紙の色分け

衆議院	小選挙区選出議員	薄い橙色(だいだい)の用紙に黒色のインクで印刷したもの
	比例代表選出議員	薄い黄色の用紙に赤色のインクで印刷したもの
国民審査		白色の用紙に黒色のインクで印刷したもの

◎投票所の変更

第5投票区が市立文化センターから中村商工会館に、竹島の区域の人の投票場所(第10投票所)が、今回は**竹島地区集会所から市立竹島小学校体育館に変更**となりました。

◎投票時間の変更

中村地区および東山地区の第6投票区および具同地区(入田地区を除く)が**午後7時閉鎖が、今回より午後6時閉鎖となりました。**

＊＊場所の問い合わせの多い投票所＊＊

第8投票所
(古津賀地区集会所)

第21投票所
(市立まなびの館)

第3投票所
(不破地区集会所)

凡例	
■	投票所
●	投票所案内用立看板

※各投票所は四万十市役所HP(http://www.city.shimanto.lg.jp/top.html)トップの「12月16日執行衆議院議員総選挙投票所一覧」にて確認することができます。

投票所および投票時間一覧表

投票開始は、午前7時から市内全投票所で

地区別	投票区	区域	投票所	投票時間
中村	第１	中村大橋通1･2･3･4･5･6･7丁目、中村百笑町、中村山手通、中村弥生町、中村四万十町、中村羽生小路、中村東下町、中村栄町、中村天神橋、中村一条通１丁目、カツラ山団地、中村岩崎町、夕陽の見える丘団地	四万十市役所	午後6時まで
	第２	右山、右山元町1･2･3丁目、駅前町、右山五月町、右山天神町、右山白藤園	市立中央公民館	
	第３	不破、角崎、不破上町、緑ヶ丘団地	不破地区集会所	
	第４	中村京町1･2･3･4･5丁目、中村一条通2･3･4･5丁目 中村東町1･2･3丁目、中村新町1･2･3･4･5丁目、中村於東町	四万十市多目的デイケアセンター	
	第５	中村小姓町、中村上小姓町、中村丸の内、中村桜町、中村愛宕町、中村本町1･2･3･4･5丁目、丸の内ハイランド大用寺	中村商工会館	
東山	第６	安並、佐岡、秋田、麻生、安並団地、秋森、佐岡団地、佐岡南の風団地	市立東山保育所	午後6時まで
	第７	沢、橋の内、古津賀第1団地、同第2団地、雅ヶ丘団地	古津賀第２団地集会所	
	第８	古津賀、古津賀1丁目～4丁目	古津賀地区集会所	
下田	第９	井沢、井沢団地	井沢団地集会所	午後6時まで
	第10	竹　島	市立竹島小学校体育館	
	第11	双　海	双海地区集会所	
	第12	平　野	平野地区集会所	
	第13	鍋島、馬越	四万十川下流交流センター	
	第14	松ノ山、下田上、下田下、串江	下田地区集会所	
	第15	水戸東、水戸西	水戸公民館	
八束	第16	名　鹿	名鹿地区集会所	午後6時まで
	第17	間崎、津蔵渕、初崎	間崎多目的集会施設	
	第18	実崎、深木	実崎地区集会所	
	第19	坂本、山路上、山路下	山路多目的集会所	
具同	第20	入田上、入田下	入田地区集会所	午後6時まで
	第21	出来島、田黒、具同田黒1･2･3･丁目、渡川1･2･3丁目、渡川、渡川病院、赤松町	市立まなびの館	
	第22	中組、西組、馬越、自由ヶ丘、相ノ沢団地	具同地区集会所	

地区別	投票区	区　域	投　票　所	投票時間
東中筋	第23	森　沢	森沢集会所	午後6時まで
	第24	荒川、楠島、国見、間	市立東中筋保育所	
	第25	江ノ村、西ノ谷	江ノ村地区集会所	
中筋	第26	上ノ土居、磯ノ川、生ノ川	磯ノ川地区集会所	
	第27	有岡、九樹、有岡団地	有岡消防屯所	
	第28	横　瀬	横瀬地区集会所	
大川筋	第29	手洗川	手洗川地区集会所	
	第30	田出ノ川、高瀬、楠、川登	市立公民館大川筋分館	
	第31	鵜ノ江	鵜ノ江地区集会所	
	第32	勝　間	市立勝間小学校	
	第33	勝間川	勝間川地区集会所	
	第34	久保川	久保川地区集会所	
	第35	三　里	三里地区集会所	
後川	第36	佐　田	佐田地区集会所	
	第37	利岡、岩田、若藤（出合を除く）	市立利岡保育所	
	第38	板ノ川、口鴨川、若藤分出合	板ノ川地区集会所	
	第39	中鴨川、奥鴨川	市立公民館鴨川分館	
	第40	田野川乙、敷地	田野川乙集会所	
	第41	田野川甲	田野川甲構造改善センター	
蕨岡	第42	藤、上分、下分、内川	蕨岡生活改善センター	
	第43	伊才原	市立公民館伊才原分館	

地区別	投票区	区　域	投　票　所	投票時間
富山	第44	下古尾	西富山活性化センター	午後5時まで
	第45	竹屋敷	竹屋敷公会堂	
	第46	上古尾	上古尾地区集会所	
	第47	大西ノ川	大西ノ川地区集会所	
	第48	大用、小西ノ川	富山地区集会所	
	第49	住次郎	住次郎地区集会所	
	第50	片魚	市立片魚小学校	
	第51	常六、大屋敷	市立常六小学校	
	第52	三ッ又	三ッ又地区集会所	
西土佐	第53	黒尊	黒尊森林事務所休憩所	
	第54	奥屋内上	奥屋内上公会堂	
	第55	奥屋内下	奥屋内下集会所	
	第56	玖木	市立公民館玖木分館	
	第57	口屋内	口屋内公民館	
	第58	中半	中半集会所	
	第59	岩間、茅生	岩間農林産物集出荷所	
	第60	藤ノ川	藤ノ川農林漁家活動促進施設	
	第61	橘	橘集会所	
	第62	津野川	津野川集会所	
	第63	津賀	津賀集会所	
	第64	薮ケ市、須崎	須崎集会所	
	第65	大宮下	大宮下集会所	
	第66	大宮中	大宮生活改善センター	
	第67	大宮上	大宮上集会所	
	第68	下家地、中家地	下家地集会所	
	第69	方の川　西ケ方	市立西ケ方小学校	
	第70	下方	下方集会所	
	第71	宮地、奈路、館	四万十市西土佐総合支所	
	第72	用井	用井集会所	
	第73	長生	長生集会所	
	第74	奥半家	半家集会所	
	第75	中半家、本村半家、本村	市立本村小学校	
	第76	中組	江川流域交流センター	
	第77	押谷、権谷	権谷せせらぎ交流館	

以下の投票所、投票時間が変更になっていますのでご注意ください

■投票所

第５投票区 ･･･ 市立文化センター　→　中村商工会館

第10投票区 ･･･ 竹島地区集会所　→　市立竹島小学校体育館

■投票時間

中村地区、東山地区の第6投票区、具同地区（入田地区除く）

･･･ 午後７時閉鎖　→　午後６時閉鎖

◆不明な点は四万十市選挙管理委員会事務局及び西土佐総合支所地域企画課へおたずねください。

（本庁）選挙管理委員会事務局　☎(34) 1784（直）　（総合支所）地域企画課☎(52) 1111（代）

ごみの減量・リサイクルにご協力ください

今年度上半期（4～9月）の市のごみ量が昨年に比べ、約85t増加しています。

今年度、市ではごみ量については前年度比294t以上の減、リサイクル率については11％以上を目標としています。

ごみの減量と、リサイクルできるものは資源ごみとして出すよう、市民の皆さまのご協力をお願いします。

平成24年度4～9月ごみ量（昨年との比較）

	平成23年度4～9月（t）	平成24年度4～9月（t）	前年比増減（t）
普通ごみ	5,733.8	5,825.1	91.3
粗大ごみ	183.6	163.1	△20.5
資源ごみ	295.1	294.7	△0.4
チャレンジ事業（資源ごみ）	351.2	365.4	14.3
合計	6,563.7	6,648.4	84.7
リサイクル率（％）	9.847	9.930	0.084

【問い合わせ先】
（市）環境生活課
☎（34）6126

消費者啓発講座「落語で撃退悪質商法」

11月14日（水）、社会福祉センターで、夢見亭わっぱ氏（本名：秋田隆実さん）を講師に招いた、消費者啓発講座を開催し、市内外から約100人が参加しました。

振り込め詐欺や金の押し買いまで幅広い悪質商法を、落語によってわかりやすく解説し、会場から笑いが絶えることのない講座となりました。

参加者からは「久々に大笑いすることができてとてもよかった」「こういった講座ならまた受けたい」といった声が寄せられました。

市では今後もさまざまな形で消費者被害防止のための周知・啓発を継続していきます。

【問い合わせ先】
（市）環境生活課
☎（35）4147

四万十市体験型観光受入研究会だより
農業体験・民泊体験受入家庭普及研修会

11月8日、本市への民泊受入家庭を増やしていくことを目的に、県観光アドバイザー藤澤安良氏を講師に招いた研修会を開催しました。

研修会では、なぜ民泊が求められているのか、民泊の目的は何か、民泊を通じて、人として大切なことを作り上げていくことができる。お互いが刺激を受けることで向上することができると説明していました。

実際受け入れる時は、決してやり過ぎない、手を出し過ぎない、孫や子どもの年代に当たる学生を受け入れるため、楽しめることや好きな食べ物など構えないといけないと思いがちになるけど、それは逆に学生たちのためにならない。いくら研修で口がすっぱくなるくらい言っても、やってしまう家庭があるが、そうではないとも言われました。

また、農業体験の受入れでは、未体験だから自由にやらすのではなく、むしろ農業の大変さ（重労働）を教え伝えることが重要であるとの説明がありました。

【問い合わせ先】
四万十市体験型観光受入研究会
（観光課）☎（34）1783

市長日誌　10月16日～11月15日

10月17日　情報公開・個人情報保護審査会
九樹地区健康福祉委員会との懇談会
暴力団排除に関する協定調印式
シルバー人材センター要望受
18日　高知県消防長会秋季総会
19日　新宮市議会視察対応
活き活き訪問検診（竹屋敷、古尾）
21日　ウルトラマラソン開会式、表彰式
22日　日田市議会視察対応
南海トラフ巨大地震対策特別措置法早期制定、国道321号改良促進、西南大規模公園建設促進、県要望（高知市）
24日　四国市長会議（阿波市）、徳島大学訪問
25日　横瀬川ダム建設事業「検討の場」（高知市）
26日　活き活き訪問検診（勝間）
27日　雇用創造促進協、市街地活性化セミナー
28日　ねんりんピックリハーサル、グランドゴルフ大会
29日　敬老会
31日　幡多広域南海地震対策連絡協議会
東京都港区との国産材活用促進に関する協定調印式（東京）
11月1日　高知県戦没者追悼式（高知市）
2日　四万十国有林野市町村長有志協議会
3日　具同地区運動会、いちじょこ将棋大会
4日　西土佐運動会
5日　幡多法人会、JA高知はた要望受
6日　自衛隊相談員委嘱式
西土佐小組合長連絡協議会との懇談会
8日　四国横断自動車道、一般国道56号バイパス建設促進、高知県市町村道整備促進、国土交通省・国会議員要望（東京）
9日　南海トラフ巨大地震対策特別措置法早期制定、横瀬川ダム建設促進期成同盟会、内閣府・国会議員要望、関東高知県人会（東京）
10日　枕方市友好都市物産フェア、ふるさと応援団関西交流会（枕方市）
11日　西土佐地域社会福祉大会
12日　こうち山の日活動事業
13日　国東市区長会視察対応
四万十市自主防災連合会設立総会
14日　弘前市議会、土佐市視察対応
消費生活センター講演会
市民表彰市民賞選考委員会
東富山地区市政懇談会
15日　四万十川改修期成同盟、国土交通省、国会議員要望（東京）

四万十市農業委員会委員選挙人名簿の登載申請

四万十市農業委員会委員選挙人名簿は、毎年1月1日現在で資格を有する人の申請に基づいて作成されます。**また、この選挙人名簿に載っていないと投票もリコールの請求もできなくなります。**

平成24年3月31日確定の選挙人名簿の登載者については、個人宛に申請書等を送付します。また、新たに申請されようとする人については、下記「申請書の備付場所」にありますのでご利用ください。

■該当者

四万十市農業委員会の区域内に住所を有する、次に該当する人

(1)年齢20歳以上の人

(2)10アール(1反)以上の農地を耕作している人およびその同居の親族または配偶者で年間おおむね60日以上耕作に従事している人

■申請書の提出期限

平成25年1月10日(木)まで左記の場所に提出してください。

●中村地域

①申請書を郵送の場合

〒787-8501

四万十市中村大橋通4丁目10

四万十市農業委員会事務局

②申請書を持参する場合

市役所本庁5階

(市)農業委員会事務局

●西土佐地域

〒787-1601

四万十市西土佐江川崎2445-2

四万十市西土佐総合支所

産業建設課

■申請書の備付場所

○(本庁)農業委員会事務局、(本庁)選挙管理委員会事務局、(総合支所)地域企画課

○高知はた農業協同組合中村支所、西土佐支所、中村東部出張所、中村南部出張所、中村北部出張所

【問い合わせ先】

(市)選挙管理委員会事務局

☎(34)1784

指名競争入札参加資格審査申請受付

平成25年度(市外業者は平成25、26年度)に市が発注する建設工事、物品買入れなどについて、一般・指名競争入札への参加希望者は申請してください。

受付期間 平成25年1月4日(金)～31日(木)

※土、日、祝日は除く

申請方法 市内業者は持参。市外業者は郵送も可。(ただし、期間内に必着のこと)

申請書類

・指名競争入札参加資格審査申請書

・経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書(直近のものの写し)

※建設工事のみ

・納税証明書ほか

※用紙のサイズは原本以外A4サイズとします。

・暴力団排除に関する誓約書および照会承諾書

※詳しくは市公式ホームページをご覧いただくか、左記までお問い合わせください。

【問い合わせ・提出先】

(本庁)財政課 管財契約係

☎(34)6120

住宅用太陽光発電システム設置費補助申請 再募集

市の住宅用太陽光発電システム設置費補助については、①通常申請枠と、②四万十市産材利用促進事業の補助金確定者枠を設けて募集し、現在、①の受付は終了し、②の申請のみを受け付けています。

この**②については、申請期間を12月31日(当日消印有効)までとしていますが、予算が残った場合、平成25年1月15日(火)からは、①・②の枠を設けず、全ての対象者の申請を受け付ける予定です(予算がなくなり次第終了します)。**

なお、再募集の詳細については、平成25年1月7日(予定)に市公式ホームページ「四万十市からのお知らせ」に掲載しますので、それを確認していただくか、(市)環境生活課までお問い合わせください。

※補助金の交付を受けるには、**平成25年3月31日までにシステム設置工事を完了し実績報告書を提出することが条件になります。**

【問い合わせ先】

(市)環境生活課

☎(34)6126

西土佐運動会

11月4日(日)、西土佐地区運動場にて「第4回 西土佐運動会」が開催されました。

2年に1度開催されるこの運動会は、昭和33年から行われているもので、12の分館から地域の威信をかけて選手が競技に取り組みました。今回は中村青年会議所の初参加もありました。

真剣な中にも笑いが溢れ、西土佐地域外からも大勢の人が訪れ、晩秋の1日を過ごしました。

今回は西ヶ方分館が初優勝しました。おめでとうございます。

分館対抗リレー(男女、年代別)
運動会最後の種目で一番の盛り上がりを見せます

ぼくもわたしも後継者
お菓子に向かってダッシュ！！

おhー縄跳び
10人が心をひとつにジャンプ！！

四万十NSESの森で交流

NSESの森は、日鉄住金環境プラントソリューションズ(NSES)と高知県、四万十市で協働の森パートナーズ協定を結んだ森です。

11月10日(土)、西土佐玖木地吉の協定森林でNSES社員54人を迎え、体験間伐を行いました。ノコギリでの間伐は初めての体験という社員が多く、地元しまんと黒尊むらや高知県環境共生課、幡多林業事務所、エコ企画四万十の人々の指導のもと、協定の森のヒノキを一緒になって切り倒しました。

また、NSESの協賛金を活用し、今年6月から6ヘクタールの搬出間伐を実施しています。

水辺の楽校

「水辺の楽校」は環境学習支援事業として、市内の児童を対象に川原やその周辺を学習の場として活用し、水に親しみ、河川環境に対する意識を高めてもらうために、市内の小学校と四万十の日実行委員会で取り組んでいます。

今年は7月～11月にかけて4回開催され、中村南小学校、具同小学校、東山小学校、竹島小学校の児童合わせて202人がトンボ公園、佐田の沈下橋、鍋島のトンボ池等で水辺の楽校に参加しました。児童たちは講師のお話を熱心に聴いた後、昆虫や水生生物の捕獲に挑戦し、身近な自然環境について学びました。

児童たちは水辺の楽校に参加して、「すごく楽しかった」「自然の良さが分かった」「自然を僕たちで守っていきたい」と話していました。

なおこの事業には、四万十川清流保全基金が活用されています。

市教委だより

中央区小中学校音楽祭

中央区小中学校音楽祭が11月15日(小学校)、16日(中学校)の両日、市立文化センターで開催されました。

中央区音楽祭は四万十市と三原村の小中学校が参加する音楽祭で、本市からは市立の全小中学校26校が参加し、この日のために練習した歌や演奏を披露しました。

田野川小学校全校児童による斉唱

西土佐中学校音楽部による合奏

中村南小学校 坂本教育賞受賞

中村南小学校が「坂本教育賞」を受賞し、11月10日に高知市内で行われた表彰式には、教育長、中村南小学校長、中村南小学校PTA副会長が出席しました。

坂本教育賞は(財)高知県文教協会が主催し、毎年県下小中学校の中から優秀な成果を上げた小学校2校と中学校1校に贈られる賞です。

中村南小学校は、「道徳教育の推進と普及のため、研究主題を『自己をみつめ　関わりながら　きらり輝く心を持つ子どもの育成』とし、研究実践に意欲的に取り組んできた。また、道徳教育の計画、道徳の時間の質的向上と児童の道徳性の育成に学校の教育活動全体をとおして取り組み、研究成果を広く発信し、心豊かな児童の育成に成果を上げている。さらに、全校朝会活動の活用、縦割り班活動による集団性の育成、リーダーの育成等、豊かな人間関係を育む教育を推進している。」との理由での受賞となりました。

中村南小学校教職員(全22名)

古津賀第二団地地区会 こども教育サポート賞受賞

「こども教育サポート賞」は、坂本教育賞と同じく(財)高知県文教協会が主催するもので、こどもの健全育成や教育活動に顕著な貢献をした民間の個人や団体に贈られる賞です。

古津賀第二団地地区会(代表：森本宏区長)は、「平成2年に中村養護学校が高知県の地域交流活動教育の研究指定を受けたのを機に、地元古津賀第二団地地区会(シルバークラブ、女性部、青年団、自衛消防隊)との交流が始まり20年以上活動が続いている。当初は餅つき大会などのレクリエーション関係が多く青年団が中心となり活動を盛り上げてきた。現在は地域の美化活動、寄宿舎行事の夏祭りでの交流、避難訓練など様々な活動に関わり子どもたちを支える活動に積極的に取り組んでいる。」との理由で受賞となりました。

地区代表(前列)と中村養護学教頭・校長(後列)

ご質問・ご意見をお寄せください

(市)教育委員会　☎(34)1136　FAX(34)4271　E-mail：school@city.shimanto.lg.jp
西土佐事務所　☎(52)1110　FAX(52)1446　E-mail：n-school@city.shimanto.lg.jp

「市長談話室」―全国市長会『市政』11月号掲載

わが市を語る 4

四万十市（高知県）

四万十市長　田中全

清流に歴史と文化を映すまち

いちじょこ（一條公）さん

高知県西南部の幡多地域は、言葉もいわゆる土佐弁の激しさとは違うように、独自の歴史や文化をはぐくんできました。

幡多の中心地「中村」は、応仁の乱勃発の翌年（1468年）、京都の戦乱を避けた前関白一條教房公を迎えました。教房公は京都を模したまちづくりを行い、当時形成された碁盤の目状の町並みや大文字の送り火の風習、東山、鴨川、逢坂の地名などが今も残っており、「土佐の小京都」と呼ばれています。最近では最後の清流四万十川でも有名になりました。

最後の清流　四万十川

今年は江戸幕末、土佐一條家の遺徳をしのんで一條神社が創建され、その大祭「一條大祭」（通称いちじょこさん）が始まってから150年になることから、この11月、本市で3回目の全国京都会議（サミット）を開きます。この会議は京都にゆかりのあるまちが交流を図ろうと、昭和60年、中村をモデルに結成されたものです（現在加盟48）。

命を守る南海トラフ巨大地震対策

本市は昭和21年の南海地震では建物倒壊と火災により、全国最多の犠牲者（死者291人）を出しました。約100年に1度必ず起こるといわれる次の地震では、四万十川を遡上してくる津波にも備えなければなりません。

「津波から命を守る対策」「建物倒壊から命を守る対策」「地震災害に強い組織（地区・行政）をつくる対策」として、津波避難計画の策定をはじめ、避難道や避難場所の整備、避難マップの作成のほか、住宅耐震化助成事業、公共施設の耐震化、行政情報や防災情報の伝達手段の多様化などに予算を重点配分し、次の地震では1人の犠牲者も出さない決意で取り組んでいます。

四万十川アピール

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故では、大量かつ高濃度の放射性物質が放出、拡散され、広い地域が放射能で汚染され、その影響は計り知れないものがあります。

平成21年、四万十川は文化庁から全国の河川で唯一、源流から河口まで流域全体が「重要文化的景観」に指定をされました。流域には、棚田、沈下橋、伝統漁法など、自然と調和し、共生をしてきたわれわれの祖先の生活の姿が今も息づいています。こうした環境や生活を後世に残していくため、本年7月、流域の5市町共同で、今後は原子力発電に頼らない自然エネルギー（再生可能エネルギー）への転換を進めていくとする「四万十川アピール」を発表しました。

里も栄えて街も栄える

中村は、かつては「おまち」と呼ばれたほど、伝統と風格、そしてにぎわいと活気のあるまちでした。四万十川流域の主要産業である農林水産業がそれを支え、街と里とが共存共栄の関係にありました。

周辺の中山間対策をしっかり行うことで街にもにぎわいが戻ってきます。この間、農商工連携事業を立ち上げ、特産品を開発し、地産外商を進めているほか、流域の豊富な資源である「四万十ヒノキ」をブランド化するとともに、地元の木材を使い、地元の大工さんの手で造られた住宅への150万円の補助制度も創設。山間地にはケーブルテレビを敷設し、デマンドバス、タクシーも運行しています。

平成22年からは、地域づくり支援員制度を導入。高齢化が進む集落に対して市職員を支援員（兼務）として配置。本年からは、全集落を対象に、①健康づくり、②介護予防、高齢者・障害者生きがい交流、③支え合い地域づくり、に取り組む「健康福祉委員会」の結成を進めています。

市民の命と健康を守る砦（とりで）である市民病院は、長く医師の減少が続いていましたが、UターンやIターンの医師を迎えることなどにより、増加に転じ、新たに脳ドックや医師訪問検診を開始しています。

「遅咲きのヒマワリ」

本市には、清流四万十川や小京都中村を何度も訪ねて来てくれるファンが大変多くいます。100㎞を走る「四万十川ウルトラマラソン」は申込者約5000人という日本一の大会になりました。

市の情報発信交流事業として、インターネットなどを通して2年前から「四万十市ふるさと応援団」の募集を始めたところ、団員は既に1100人を超えました。こうしたファンには移住者も多く、平成23年度、市の人口は約10年ぶりに社会増に転じました。

本年度からは、国の制度を活用し「地域おこし協力隊」を都会地から募集。大勢の申し込みがあり、20～30歳代の男女3名を採用し、主に中山間地域集落の支え合いづくりをサポートしてもらっています。

こうした中、四万十川の大自然を舞台にして、本市の地域おこし協力隊員やUターン医師をモデルにしたような、地方の課題に向き合う若者を描いた連続テレビドラマがつくられ、10月よりフジテレビ系列で「遅咲きのヒマワリ～ボクの人生、リニューアル」として放送されています。

アンテナ高く情報発信。人と人が交われば可能性が広がります。交流人口の拡大や移住促進事業を通して、「清流に歴史と文化を映すまち」の活性化につなげていきたいと思っています。

土佐一條公家行列「藤まつり」

プロフィール

◆面積　632・42㎢
◆人口　3万5984人
◆世帯数　1万6456世帯

〔将来都市像〕第一次産業をしっかりと守り、観光資源などと融合させ、自然と共生をした交流ネットワークが広がるまち

〔まちの特徴〕とうとうと流れる四万十川。大文字にひっそりと公家文化を燃やす小京都中村

〔市町村合併（平成11年3月末以降）〕平成17年4月10日、中村市と西土佐村が対等合併

四万十市長
田中　全

〔特産品〕鮎、鰻、青のり、川えび、ごり、ツガニ、山間米、ぶしゅかんドレッシング、四万十栗渋川煮、ゆず甘酢、40010かりんとう

〔観光〕四万十川カヌー、沈下橋、サーフィン、一條神社、トンボ王国（トンボ自然公園）、安並水車の里公園、黒尊渓谷、天体観測

〔イベント〕四万十川ウルトラマラソン、四万十川水泳マラソン大会、一條大祭、藤まつり（土佐一條公家行列）、四万十川花絵巻、大文字の送り火

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

税務課からのお知らせ

1月は償却資産の申告月です 申告はお早めに!!

■**対象者**
平成25年1月1日現在において、市内に所在する事業用償却資産を所有している個人および法人。

■**提出期限**
平成25年1月31日(木)まで

※申告用紙、注意事項などは郵送します。

土地、家屋の異動はありませんか

土地、家屋について次のような異動があったときは、お知らせくださるようお願いします。

■**土地の利用状況(宅地、田、畑、山林、原野、雑種地)に変更があった場合**

■**家屋の新築、増築などで面積の異動があった場合ならびに、取り壊しがあった場合**

※固定資産税は、毎年1月1日(「賦課期日」といいます)に土地、家屋、償却資産(これらを総称して「固定資産」といいます)を所有している人がその固定資産の価格をもとに算定されます。

【問い合わせ・提出先】
(本　庁)税務課 資産税係 ☎(35)4428
(総合支所)税務係 ☎(52)1111

市税の納め忘れはありませんか?

今月は、市税の滞納整理を強化しています。市税を納め忘れの人はお早めに納付くださるようお願いします。

■本庁税務課窓口では平日の昼休み(12時～13時)も納税相談などを行っています。
■市税の納付には便利な口座振替をご利用ください。詳しくは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
(本庁)税務課 収納係 ☎(35)5552　(総合支所)税務係 ☎(52)1111

平成24年度「税についての作文」入賞者

全国納税貯蓄組合連合会および国税庁では、租税教育の一環として、毎年9月に、全国の中学生を対象に「税についての作文」を募集しています。

この募集は今回で46回目となり、市内では左記の生徒が入賞しました。

県知事賞の山本茉穂さんは、1年生時に続き2回目の受賞となります。

11月14日(水)には、県立中村中学高等学校にて、中村税務署による、笹原心さん(写真)、今城鮎里さんへの伝達式が行われました。また、併せて同校における「税の標語」(全国関税会総連合会主催)の入賞者5名への伝達も行われました。

「税についての作文」市内入賞者(敬称略)

【高松国税局長賞】
笹原心(県立中村中・3年)

【高知県知事賞】
山本茉穂(八束中・3年)

【中村税務署長賞】
今城鮎里(県立中村中・3年)

【四万十市租税教育研究会会長賞】
谷口七海(中村西中・3年)
濵崎詩織(西土佐中・3年)

【中村税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞】
東　明芳(市立中村中・3年)
永沢しおり(東中筋中・3年)
久保美紗子(中村西中・3年)

年末年始の交通安全運動

年末年始は、飲酒の機会が多くなることや交通量の増加などを原因として、交通事故の多発が予想されます。市民一人ひとりが交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に努めましょう。ドライバーは、歩行者や自転車、対向車などに車の接近を知らせるため早めのライト点灯を、歩行者、自転車は明るい服装や反射材の積極的な着用を心がけましょう。

■**実施期間**
12月10日(月)～平成25年1月9日(水)

■**重点目標**
1. 子どもと高齢者の交通事故防止
2. 飲酒・暴走運転の根絶
3. 自転車の安全利用の促進

【問い合わせ先】
(本　庁)環境生活課 市民生活係 ☎(35)4147
(総合支所)地域企画課 地域振興係 ☎(52)1111

ねんきんだより

【みんなで支える公的年金】

高齢者になったとき、障害の状態になったとき、一家の担い手が死亡したときなどに所得保障を行い、本人または家族の生活を支えていくのが**公的年金制度です。**

公的年金は、多くの国々で制度が整備されており、日本での基本的な仕組みは次のとおりです。

①**国民皆年金**（全ての国民が年金保障の対象）

②**社会保険方式**（保険料の納付実績に応じて、年金を受ける権利・金額が決まります）

③**世代間扶養**（現役世代の納める保険料が、今の高齢世代の生活を支え、現役世代が高齢者になったときには、次の世代の納める保険料が生活を支える仕組み、すなわち『世代と世代の支え合い』を基本理念としています）

【国民年金のメリット】

「年金なんてまだ先のこと」と思う人もいるかもしれませんが、国民年金には次のようにさまざまなメリットがあります。

①生涯の年金額は保険料の1・7倍以上

国民年金の老齢基礎年金は、2分の1（平成21年3月分までは3分の1）が国庫負担（税金）で賄われているため、支払った保険料を上回る給付を受けることができる計算となっています。厚生労働省の試算では、1985年生まれ（2005年に20歳）の人でも納めた保険料の1・7倍以上となります。

②老後を支える終身保障

国民年金は、生きている限り年金が受け取れる一生涯の保障であり、老後の生活をサポートします。

③ケガや病気、万が一のときにもサポート

国民年金は老後の保障だけでなく、加入者がケガや病気により傷害が残ったときは「障害基礎年金」、亡くなられたときにはその遺族に「遺族基礎年金」が支給されるなどあなたの生活をサポートします。

④納めた保険料は社会保険料控除の対象

納めた保険料は、確定申告の際に全額が「社会保険料控除」として認められています。

⑤国民年金は経済の変動にも負けません

賃金や物価の変動にあわせて、年金を支える力と給付のバランスをとる仕組みにより年金額が改定されるため、年金に加入（20歳）してから年金を受給（65歳）するまでの間、経済社会が大きく変動したとしても、**年金の価値が保障されます。**

【国民年金の加入方法】

日本に住んでいる20歳以上60歳未満のすべての人は、国民年金に加入することになります。

加入者は、職業などによって3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。

・第1号被保険者

自営業者、学生、フリーター、無職の人などで、加入手続きはご自分で幡多年金事務所か市役所の国民年金担当窓口で行います。

・第2号被保険者

会社員や公務員など、厚生年金保険や共済組合に加入している人で、加入手続きは勤務先が行います。

・第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されている配偶者の人で、加入手続きは第2号被保険者の勤務先を経由して行います。

【問い合わせ先】
日本年金機構幡多年金事務所
☎（34）1616
（本　庁）市民課 市民係
☎（34）1113
（総合支所）市民課 西土佐市民国保分室
☎（52）1111

図書館だより

平成24年 12 December

開館時間　9:00～18:00

一般書

アンデスのリトゥーマ	マリオ・バルガス
いじめは７時間で解決できる！	片木　悠
旅猫リポート	有川　浩
団塊世代の孫育てのススメ	宮本　まき子
鋼の綻び	相場　英雄
はじめよう！木版画	五所　菊雄
まりしてん【ギン】千代姫	山本　兼一
拉致と決断	蓮池　薫

12月の新着図書（154冊）

児童書／えほん

オリンポスの神々と７人の英雄	リック・リオーダン
クリスマスってなあに？	ジョーン・G.ロビンソン
劇団６年２組	吉野　万理子
しずかな、クリスマスのほん	レナータ・リウスカ
新世界へ	あべ　弘士
ちがうねん	ジョン・クラッセン
つるばら村の魔法のパン	茂市　久美子
ぼくとヨシュと水色の空	ジーグリット・ツェーフェルト

★休館日の案内★

12月10日（月）定休日
17日（月）定休日
23日（日）天皇誕生日
12月24日（月）定休日
27日（木）館内整理日

＊12月29日（土）～1月3日（木）年末年始のお休み
＊来年は1月4日（金）から開館します。
＊お休みが続きます。ご注意ください。

★土佐民話紙芝居＆講演会★

市原麟一郎さんご本人による手作りの土佐民話紙芝居の実演です。今年のクリスマスおはなし会として行います。子どもさんも大人の方もご一緒にどうぞ。

日程：12月16日（日）
13：30～14：10　土佐民話紙芝居（対象：4歳～）
14：20～14：50　プレゼントお楽しみ会（対象：紙芝居参加の子ども）
15：00～16：00　講演会『土佐の笑い話』（対象：大人）

問 市立図書館　☎（35）2923

1年に1度は検診を
～健康は自分で～

保健カレンダー 12

健診　教室・学習会　相談　献血　動物関係

	月日		事　業　名	該当地区	時　間	場　所
12月	17日（月）	相談	定例健康相談		9:00～11:00	西土佐分署横
		教室	健康の集い		13:30～	奥屋内下集会所
	18日（火）	健診	乳がん検診	全地区	個別通知	文化センター
	19日（水）	健診	乳がん検診	全地区	個別通知	文化センター
		健診	乳児健診		12:50～13:30	健康管理センター
	20日（木）	健診	乳がん検診	全地区	個別通知	文化センター
		健診	医師による子育て相談【要予約】		9:00～12:00　13:00～17:00	四万十市役所
	21日（金）	健診	１歳９ヵ月児健診		12:50～13:30	健康管理センター
1月	7日（月）	相談	定例健康相談		9:00～11:00	西土佐分署横
		教室	健康の集い（食事会セット）		11:00～	西ケ方集会所
	9日（水）	教室	マム＆チルドレン		10:00～11:30	地域子育て支援センターぽっぽ
		健診	乳児健診		12:50～13:30	健康管理センター
	11日（金）	健診	3歳児健診		12:50～13:30	健康管理センター
	16日（水）	健診	輝くカラダ塾		13:00～13:30	健康管理センター
		教室	健康の集い		10:00～	玖木公民館
	17日（木）	健診	乳幼児（赤ちゃん）相談		9:30～11:00	健康管理センター
		教室	ママタッチ教室		9:30～11:00	健康管理センター
		相談	出張健康相談		9:00～11:00	ＪＡ高知はた西土佐支所
	18日（金）	健診	１歳９ヵ月児健診		12:50～13:30	健康管理センター

【特定健診のご案内】

市では糖尿病などの生活習慣病を予防する為に特定健診を実施しています。生活習慣病になり治療が必要となる前に予防することで、健康な毎日を送ることができます。

今年度にまだ特定健診（生活習慣病健診）をお済みでない人は、下記の医療機関に特定健診受診券を持参のうえ、ぜひ受診をよろしくお願いします。

（受診券有効期限：平成25年1月31日まで）※国民健康保険に加入してる40歳～74歳の人で、受診券を送付している人が対象です。

〇特定健診を受診できる市内の医療機関

大野内科、要医院、木俵病院、さくらクリニック、佐々木整形外科、四万十市民病院、（医療生協）四万十診療所、竹本病院、中村クリニック、中村病　西土佐診療所、幡多病院、松本病院、森下病院、山下整形外科［五十音順］

※12月15日(土)までの計画については、広報四万十１１月号に掲載しています。

【お詫びと訂正】　広報四万十11月号掲載　献血受付月日
正：12月13日（木）　誤：12月12日（水）

【問い合わせ先】　（本庁）保健介護課　☎(34)1115　（総合支所）保健課　☎(52)1132

生き生きフェスタしまんと

（市）保健介護課では「生き生きフェスタしまんと」を次のとおり開催します。

ご家族・ご友人をお誘いあわせのうえ、多くの皆さんのお越しをお待ちしております。

日時　平成25年1月20日（日）
9時30分～11時30分
13時30分～15時30分

場所　市立中央公民館
2階大ホール

歯と食事コーナー

◇歯についてのお話と展示
◇食生活改善推進員による試食品

体力測定コーナー

◇身長・体重・握力・バランス・垂直跳び測定・起立時間測定
◇体脂肪率・筋肉量測定
◇血液さらさら度チェック
◇骨密度チェック
◇血管年齢測定
◇ＣＯモニター

※時間の関係で希望者多数の場合はお断りすることもあります。

【問い合わせ先】
（市）保健介護課
☎（３４）１１１５

大腸がん無料検診対象者のお知らせ

高知県民の40歳代・50歳代の死因トップは男女ともがんになります。

大腸がんは、他のがんと同様に、特に働き盛りの40歳代から罹患率が増加しています。しかし、大腸がんの治癒率は7割、早期であれば9割以上が完治すると言われています。そのため、早期のがんを発見するためには定期的に検診を受けることが大切です。

大腸がんの無料検診対象者には「大腸がん検診無料クーポン券」と「大腸がん無料検診手帳」をお送りしていますので検診希望の人はお申し込みください。（クーポン券有効期限は平成25年2月28日まで）

対象者（年齢は前年度を基準）

年齢	生年月日
40歳	昭和46年4月2日～昭和47年4月1日
45歳	昭和41年4月2日～昭和42年4月1日
50歳	昭和36年4月2日～昭和37年4月1日
55歳	昭和31年4月2日～昭和32年4月1日
60歳	昭和26年4月2日～昭和27年4月1日

検査方法

検診では、便に混じった大腸がんからの出血を調べる「便潜血検査」を行います。

2日分の採便が必要ですが、自宅でできる、検査前の食事制限もない簡単な検査です。

採取した便は指定した日時・場所に提出してください。検査の結果は後日、再検査の必要な人のみ2週間以内に通知します。

※異常のない人には通知はしません

申込方法

大腸がん検診には「検査キット」が必要です。検査キットの申し込みは左記の方法で受け取ります。

①返信用封筒に「申込書」と「無料クーポン券」を入れ返送→後日自宅に郵送します

②「申込書」と「無料クーポン券」を持参し市窓口へ→検査キットをお渡しします。

③「申込書」と「無料クーポン券」を持参し集団検診配付会場へ→検査キットをお渡しします。

※集団検診配付日は個別通知時に配付した日程表等を、回収日は検査キットと一緒にお渡しする日程等をご参照ください。

【問い合わせ先】
（本庁）保健介護課
☎（34）1115
（総合支所）保健課
☎（52）1132

国民健康保険からのお知らせ

ジェネリック医薬品をご存じですか

■ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、新薬（先発医薬品）の特許が切れた後に販売される医薬品で、新薬と同等の有効成分、効能・効果を持っています。

ジェネリック医薬品は新薬に比べて開発費を大幅に抑えることができることから、平均的に新薬より低価格となっており、切り替えることで薬代の負担が軽減されることがあります。ただし、治療内容によっては新薬での治療を必要とする場合や、ジェネリック医薬品がない場合もあります。

■ジェネリック医薬品促進通知書の送付

～通知を受けた人のうち約6割がジェネリック医薬品に切り替え～

国民健康保険に加入している40歳以上の被保険者のうち、ジェネリック医薬品に切り替えた場合に薬代の自己負担額が一定軽減されると見込まれる人に対し、その差額通知を昨年3月から実施しています。その結果、本年6月までに1701人がジェネリック医薬品に切り替え、約1500万円の医療費削減効果があったと見込まれます。

ジェネリック医薬品への切り替えによって、被保険者の自己負担額の軽減ばかりでなく、国保財政の改善にもつながります。

■ジェネリック医薬品を希望する場合は

受診している医療機関の主治医や薬剤師にご相談ください。また、主治医や薬剤師にその意思を伝える「ジェネリック医薬品希望カード」をご利用いただくと便利です。（希望カードは保険証と一緒に送付しています。また、市役所1階市民課、西土佐総合支所にもあります）

医療費削減のため、ジェネリック医薬品の利用と普及にご協力をお願いします。

【問い合わせ先】
（本　庁）市民課 国保係
☎（34）1114
（総合支所）市民課
西土佐市民国保分室
☎（52）1111

平成25年度 保育所の入所受付が始まります

★こんなときに保育所に入所できます

保護者が働いていたり、出産、病気などにより、ご家庭での保育が十分できない場合に、保護者にかわってその児童を保育します。

◇申込方法

所定の入所申込書に必要書類を添えてご提出ください。

※入所申込書は12月17日(月)より配布を開始します。

◇申込期間

●4月入所

平成25年1月15日(火)～25日(金)

●5月以降入所

平成25年1月15日(火)～随時

※5月以降の入所については前月15日を締切として随時受付を行います。

◇受付(配布)場所および時間

●平　日

(本　　庁)福祉事務所 保育所係

(総合支所)西土佐福祉分室(保健課内)

8時30分～12時、13時～17時15分

(各保育所)

8時30分～16時30分

●土曜日:市役所閉庁のため保育所のみで受付

8時30分～12時

※入所受付期間を過ぎても随時受付は行いますが、申し込み状況により入所できない場合があります。

平成25年度実施予定保育所

保育所名	所在地	電話番号	定員
愛育園	中村東町3丁目1-27	(35)2514	110
もみじ	中村四万十町2248-1	(35)3734	90
あおぎ	右山元町2丁目3-1-31	(35)3582	130
下田	下田2260-1	(33)0133	50
竹島	竹島3318	(33)0746	30
古津賀	古津賀1丁目120	(35)4886	100
東山	安並1726	(35)6472	80
蕨岡	蕨岡甲6797	(32)1031	45
大用	大用860-6	(39)2413	20
川登	川登1040	(38)2416	30
利岡	利岡22-1	(35)6664	30
具同	具同田黒1丁目11-46	(37)3826	210
八束	間崎1483-7	(36)2401	60
東中筋	楠島945-5	(37)1133	65
中筋	有岡2210	(37)0085	50
川崎	西土佐江川崎225	(52)1277	70
本村	西土佐江川826-1	(52)1281	35
めぐみ乳児	具同田黒1丁目11-38	(37)2121	45
ひかり乳幼児	古津賀942	(35)6605	50

※定員は変更する場合があります。

【問い合わせ先】

(本　　庁)福祉事務所 保育所係

☎(34)1780

(総合支所)西土佐福祉分室(保健課内)

☎(52)1132

子育て講演会とワークショップ

子育て、孫育てに奮闘中のみなさん。

人形劇団代表として、長年全国の子どもたちと向き合ってきた永野さんのパワーあふれるお話に元気をもらいませんか。

講演は無料です。紙封筒のワークショップも必見です。託児もありますので、ぜひご参加ください。

講　師　永野むつみ(人形劇団ひぽぽたあむ代表)

【講演会】 1月11日(金)

「感動すること・育つこと　思春期編

～うるせえくそばばあと言われたら　赤飯をたこう～」

時　間　19時～20時30分

【講演会とワークショップ】 1月12日(土)

「感動すること・育つこと　幼児期編

～感じる心が考える頭を育てる～」

時　間　14時～15時30分

・ワークショップ(親子で参加できます)

～紙封筒で誰も見たことのない生き物を作ろう～

時　間　15時40分～17時30分

材料費　300円

※はさみとのりを持ってきてください。

場　所　いずれも市立中央公民館 2階　大会議室Ⅱ

託　児　3歳～小学3年生まで

(1週間前までに予約が必要)

【問い合わせ・申し込み先】

(市)教育委員会 生涯学習課　☎(34)7311

四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”

親子ふれあい活動　1,2,3歳児対象

たこを飛ばそう①②③

お母さんと一緒に簡単なたこを作るよ♪どんなたこができるかな？
お庭で元気いっぱい飛ばそうね！

時 1月11日(金)　9:30～11:30
場 子育て支援センター

園庭開放　※雨天の場合は中止します。

保育所名	月日	時間	駐車場
東中筋保育所	12月19日(水)	9:30～11:00	数台分有
もみじ保育所	12月18日(火)	10:00～11:00	なし

育児相談

相談日／月～金曜日　9:30～11:30、13:30～16:30
子育てについて思っていること、悩んでいること等気軽にご相談ください。電話相談だけでなく、直接来所しての相談にも応じます。
※活動のある日の午前中は、相談に応じられない場合があります。
※第３木曜日(9:30～11:30)は、家庭相談員による育児相談を行っています。

その他の活動

クリスマスお楽しみ会

歌ったり、踊ったり、おやつを食べたり･･･みんなで楽しくクリスマスを過ごしましょう！サンタさん、プレゼントを持って来てくれるかな？
おやつを持って参加してね。

時 〔ぴよちゃんクラブ〕12月18日(火)　9:30～11:30
〔1,2,3歳児〕　12月19日(水)　9:30～11:30
場 子育て支援センター

※初めて参加を希望される人は、準備などの都合がありますので、あらかじめご連絡ください。①など番号が付いている活動は、各日程ごとにグループに分かれます。

問い合わせ先
四万十市地域子育て支援センター“ぽっぽ”
右山元町1丁目2-10 ☎(３５)３７４８

心豊かに食する

食育　ニラが香る麻婆なす（所要時間：約20分）

今回使用したなすもにらも、高知県での生産量は全国トップ！
特に11月から6月にかけて栽培される冬春なすは全国1位の生産量を誇っています。できるだけたくさん、地元の新鮮な野菜を子どもたちに食べてもらいたいところですが、なすは子どもたちが苦手な野菜のひとつ。保育所の給食でも、カレーやミートソース、炒め物の脇役として活躍しますが、なかなか主役になる機会はなく、ちょっと気の毒です。
高知は野菜王国！　子どもたちが高知産の野菜を身近に感じられるよう、時々は主役になってもらうのもいいですね。

材料(3～4人分)
- 長なす……2本
- 豚挽き肉……200ｇ
- ニラ……1/2わ
- にんにく……少々
- ごま油(炒め用)……少々
- 中華スープ……150cc
- 砂糖……小さじ2
- しょうゆ……小さじ２
- あわせ味噌……大さじ１
- みりん……小さじ２
- 塩……小さじ1/2
- 水溶き片栗粉……適量

※辛味が大丈夫なら、豆板醤を加えてください。

栄養成分(1人分)
エネルギー：218kcal
たんぱく質：14.4ｇ
脂　　質：12.25ｇ
食　　塩：2.1ｇ

作り方
① なすは乱切りにして水にさらし、ニラは刻んでおきます。
② なすをひたひたの中華スープで下煮します。(鶏がらスープでも可)
スープは後で150cc使うので捨てずにとっておいてください。
③ ごま油とにんにくを熱して豚挽き肉とニラを炒め、砂糖、塩、しょうゆ、味噌、みりんで味付けします。
④ ③に、なすと、なすを煮たスープを150cc程度加えて煮ます。
⑤ 全体的に煮詰まって味がからまったら水溶き片栗粉を回し入れてさっと混ぜ合わせ、お好みのとろみがついたら火を止めます。

なすの皮の紫色は、ポリフェノールの一種であるアントシアニン系色素ナスニン。これは抗酸化作用が強く、がんや生活習慣病の引き金になるとされている活性酸素の働きを抑える作用があります。なすを皮のまま食するのにはこのような利点もあります。

(福祉事務所 保育所係 橋田典子)

土佐くろしお鉄道NEWS

©やなせたかし
土佐くろしお鉄道(株)

土佐くろしお鉄道中村・宿毛線 団体利用・列車貸切利用運賃特別割引

土佐くろしお鉄道を8人以上の団体で利用する場合の団体料金と、列車を貸切で利用する場合の貸切料金が期間限定で以下のとおり割引になります。団体利用や列車貸切利用の運賃は通常の利用と比べてお得となっていますが、さらにその割引を実施します。

これを機会にぜひ土佐くろしお鉄道を利用してください。

実施期間　平成25年3月31日まで

割引対象者

団体旅客運賃、貸切旅客運賃を支払する団体、個人

※旅行会社が主催するツアー等にかかるものを除く。

割引区間

土佐くろしお鉄道中村・宿毛線

窪川駅～宿毛駅の全区間

※窪川以東の路線は対象外

割引率　下表のとおり

申込方法

土佐くろしお鉄道㈱に団体利用、貸切利用の申し込みをする際に、同時に申し込んでください。

※割引実施期間内であっても、予算の都合上、割引実施を終了する場合がございますのでご了承ください。

種別	従来の運賃	特別割引	利用例
団体旅客運賃	通常の運賃に比べて ８人～１００人……１０％引き １０１人～３００人…２０％引き ３０１人以上……３０％引き さらに、 中学生は割引率を２０％上乗せ。 その他の学生は　１０％上乗せ。 ※中学生２００人の場合は４０％引き。	従来の団体旅客運賃から、さらに１／２　割引き。 但し、１人当たりの特別割引額は500円まで。また、１団体１回の利用につき20,000円まで。	保育園・小学校遠足、婦人団体・老人クラブ旅行 ※窪川以東に行く場合でも土佐くろしお鉄道区間は対象になります。 例）保育園遠足　宿毛～入野　40人利用した場合 通常運賃（小児）　430円×0.8　≒　350円 40人分の場合　350円×40　≒ 14,000円 特別割引の場合　14,000円×1/2　≒　7,000円 ※1人当たり　175円
貸切旅客運賃	下記の区間の往復で 中村駅～窪川駅間　５９，５００円 中村駅～宿毛駅間　３４，３００円 宿毛駅～窪川駅間　８６，８００円	列車貸切利用運賃から １／３　割引き 但し、１回の利用につき20,000円まで。	カラオケ列車（カラオケ設備別途要） 婚活列車、忘年会利用、結婚披露宴等 例）中村～窪川間で利用した場合 59,500円×2/3　≒ 39,700円

『お!!なか・すく線ツアー』『お!!なか・すく線ウォーク』参加者募集

土佐くろしお鉄道株式会社が主催する日帰りツアーおよびウォーキングツアーを以下のとおり開催します。参加を希望する人は左記の申込先まで申し込みください。

○日帰りツアー

・迎春！金毘羅宮参拝の旅

日　程　平成25年1月12日(土)

参加費用　14800円

受付期間　12月20日まで

・春爛漫！

四万十菜の花・温泉・屋形船の旅

日　程　平成25年3月16日(土)

参加費用　5000円

受付期間　平成25年2月1日～3月1日

○ウォーキングツアー

・岩本寺参拝ウォーク

日　程　平成25年3月30日(土)

参加費用　2000円

受付期間　平成25年3月20日まで

※詳細日程、子供料金等については、中村駅に配置しているチラシ、同社のホームページをご覧いただくか、左記までお問い合わせください。

【問い合わせ・申込先】

土佐くろしお鉄道

中村駅　☎(35)4961

宿毛駅　☎0880(63)6000

消費生活センターからのお知らせ

還付金詐欺に注意！

最近、市役所等の公的機関職員をかたり、医療費の還付金がある等と偽り、還付に必要な手続きを装ってATMを操作させて送金させる手口が再び頻発しています。

■還付金詐欺の手口（例）

市役所職員を装う犯人から、「医療費の払い戻しがあります。今日中に手続きが必要です」「コンビニのATMから簡単に手続きできます。通帳（カード）を持ってコンビニに着いたら、社会保険事務所0120-xxx-xxxへ携帯電話から電話してください」と自宅の固定電話に電話があります。

コンビニから教えられた番号に電話すると、社会保険事務所職員を装う犯人が電話に出て、「こちらの言うとおりATMを操作してください」と指示され、言われるまま操作すると、知らぬ間に他人の口座に送金してしまいます。

■被害に遭わないために

◎ATMで簡単に戻る還付金は存在しません。電話でお金の話は要注意！

◎公的機関（役所、警察署等）が、暗証番号や預金額等を電話で尋ねることは絶対にありません。

◎電話や郵便物などで、高額の現金を相手の預金口座に「振り込め」と言われても、言われるままに振り込んではいけません。

携帯電話で通話しながらATMを操作している人がいたら、声をかけてください！

【問い合わせ・相談先】

四万十市消費生活センター

☎(34)6301

一條氏と中村（四）
玉姫

東近　伸

永正十八年（一五二一）六月二二日早朝、伏見宮邦高親王の王女玉姫は京都伏見を立ち見送りの人たちに名残を惜しまれながら土佐下向のため鳥羽より乗船している。土佐一條家二代房冬への嫁入りのためである。玉姫には同日京都を立った仁和寺の尊海僧正（後の金剛福寺院主）が随行したものと思われる。先々帝の後花園天皇が伏見宮家から出ており、当時の後柏原天皇は玉姫の父邦高親王の従兄の子という近親である。兄二人の年齢から察すると妹の玉姫の年齢は二〇歳前後であったろう。邦高親王はひとり娘の玉姫を遠く幡多荘中村に嫁がせている。一方、土佐一條家はその年の五月、初代房家が四七歳で従二位前権大納言、二代房冬は二四歳で従三位左近衛中将に補任（ぶにん）され公卿となっている。

京都より玉姫を迎えた中村御所は美しく着飾った姫と侍女たちが華やいだ雰囲気を醸し出していたものと思われる。翌、大永二年には長男の房基が誕生している。土佐一條家からは朝廷への献上品や献金もおこたりなく、また伏見宮家を通じて朝廷との人脈もあり、房基は享禄三年（一五三〇）には九歳で従五位下に叙せられ、房冬は玉姫の兄伏見宮貞敦親王の尽力により天文四年（一五三五）には三九歳で従二位左近衛大将に昇任している。土佐一條家は房家、房冬、房基と三代がそろい盤石の繁栄を誇ったのはこの頃であったと思われる。ところが天文八年（一五三九）に房家が六三歳で没すると、二年後の天文一〇年には房冬が四四歳で相次いで死去し土佐一條家の繁栄に陰りがみえる。房基は天文九年には一九歳で従三位の公卿に昇任している。そして房基は豊後の守護大名大友氏の娘を妻に迎え、息兼定が天文一二年（一五四三）に誕生している。玉姫は京一條家の房通らの援助を得て夫房冬の葬儀の涙のかわく間もなく房基の婚礼を取り仕切ったものと思われる。ところで、翌年の天文一三年（一五四四）四月、家臣たちが連名で幡多の産土神、平田村戸内（へないの）の高持大明神（高知坐社）に房基と万千代丸（兼定）の延命を祈願しており、房基には健康面で心配な点があったのかもしれない。玉姫は心労のためか天文一六年（一五四七）八月に薨去している。年齢は四十四、五歳を過ぎていたと思われる。玉姫の墓所は中村小学校前の旧常照寺跡にある。ちなみにその二年後、三代房基は六歳の兼定を残して二八歳の若さで死去している。

玉姫の墓

玉姫の降嫁を機に都鄙間の交流は頻繁におこなわれ、戦国期にあって中村は小京都の賑わいをみせたものと思われる。これらは四六〇年以上もはるか昔の事ではあるが、旧中村市街地はかつての一條氏の御所を中心に形成された中世の小都市の基層の上に営まれている。土佐一條家への玉姫の輿入れのエピソードは最近では五月の藤祭り公家行列や中村商店街「四万十玉姫の会」の婦人たちの紙芝居などで紹介されている。

私たち市民一人ひとりがこのような中世にさかのぼる中村の歴史に誇りを持ち、清流四万十川と美しい自然や景観を保護すると共に歴史と文化を生かした町づくり、地域づくりにともに尽力されることを願ってやまない。

（おわり）

映像の幡多 上映会
～歴史・風土・文化とは～

『四万十川』

1991年、製作・公開。笹山久三の同名小説を恩地日出夫監督が映画化したもの。

昭和30年代ころの四万十川に住む一家を、一人の少年の眼を通して、そこに住む人々の生活模様を描いた作品。東京国際映画祭・芸術貢献賞受賞。

主な出演者は、樋口可南子、小林薫、山田哲平、高橋かおり、石橋蓮司ほか。

上映時間は111分。

日　時　12月20日（木）
14時～／19時～（2回）
場　所　市立文化センター大ホール
鑑賞券　500円

【問い合わせ先】
（市）教育委員会 生涯学習課
☎（34）7311

しまんと 情報掲示板

第2回 小京都四万十ジュニア駅伝大会

催し

昨年度第1回目の大会を行ったジュニア駅伝大会を、今年度も本市の中心市街地である天神橋商店街等をコースとして開催します。

当日は、レースのスムーズな運営を図るため、一部交通規制が行われますので、警察官や交通安全指導員等の指示に従ってください。

市内各小学校には12月中旬までに、開催要項、参加申込書等を配布しますので、大会参加についてよろしくお願いします。

日　時　平成25年1月26日(土)
受　付：11時30分～12時
市立文化センター
開会式：12時30分　天神橋アーケード
スタート　男子：13時30分
女子：14時30分
閉会式：15時30分(予定)天神橋アーケード
コース　中心市街地商店街発着周回コース

問　第2回小京都四万十ジュニア駅伝大会実行委員会(川西修)
☎(35)0166

第44回 読売中村ロードレース

お知らせ

ランナー約300人を迎え、恒例の読売中村ロードレースを開催します。

市民の皆さんの暖かいご声援をお願いします。

なお、当日はレースのスムーズな運営を図るため、一部交通規制が行われますので警察官、交通指導員、警備員の指示に従うようご協力をお願いします。

日　時　12月23日(日・祝)※雨天決行
開会式：9時
スタート：9時55分

各コース・種目
(安並運動公園～蕨岡方面)
・10㎞：高校男子、一般男子
・5㎞：壮年、高校女子、一般女子
・3㎞：小学生、中学生

問　第44回読売中村ロードレース大会事務局
社会体育課(市民スポーツセンター内)☎(34)2071

働く婦人の家講座「クリスマスケーキづくり」

教室・講座

日　時　12月23日(日)13時～15時30分
※講師の都合により日程が変更になることがありますのでご了承ください。
場　所　働く婦人の家 2階 調理室
講　師　谷崎佐千代
対象者　市内に居住または勤務する女性
定　員　10人
受講料　無料
材料費　1600円
用意するもの　エプロン、ふきん
申込方法　12月12日(水)から本人に限り窓口・電話で受付
※定員になり次第締め切り
受付時間　9時～12時、13時～17時15分
(土・日・祝日を除く)

問 申　働く婦人の家
☎(34)6299

防犯メモ

年末年始の防犯について

早いもので、今年も残りあとわずかとなりました。

年末年始はいつもより人出が多くなり、何かとお金を持ち歩く機会も増えます。

この時期は大きなお金の流れもあることから、詐欺などの被害に遭いやすい時期でもあります。「自分だけは大丈夫」と思わず、万が一、怪しい電話などがあれば、相手にせず、きっぱりと断るようにしましょう。

また、長期休暇を利用しての旅行や、帰省のため、家を留守にする機会も増えます。鍵掛けを励行して、窃盗などの被害に遭わないように心がけましょう。

皆さん一人ひとりが、いつも以上に防犯意識を持ち、楽しい年末年始を過ごしましょう。

【問い合わせ先】
中村地区地域安全協会
(中村警察署内)
☎(34)0110

今月は
固定資産税　4期分
国民健康保険税　6期分
の納付月です

募集

第8回 四万十市スポーツ賞 推薦募集

教育委員会では、市民のスポーツに対する関心を高め、「市民皆スポーツ」の実現を図るため、「四万十市スポーツ賞」を制定し顕著な功績をあげた個人、団体を表彰します。

ついては、日頃活躍している個人や団体の推薦をお願いします。

推薦書配布場所
教育委員会社会体育課、教委西土佐事務所、具同体育センター

応募締切日
平成25年1月31日(木)17時必着

候補者の推薦基準
・優秀賞…本市に住所を有し、平成24年2月3日から平成25年1月30日までの間に各種の競技会において優秀な成績を上げた個人または団体
・功労賞…本市に住所を有し、永年にわたり優秀な選手を育成した個人および本市のスポーツ普及、発展に貢献し、その功績が顕著な個人または団体
・特別賞…本市出身者等で平成24年2月3日から平成25年1月30日までの間に国際的規模の大会において優秀な功績を残した個人または団体
※複数名、複数団体の推薦可

選考方法
推薦された個人、団体を選考委員会で選考し受賞者を決定します。

表彰式
賞状と副賞を授与します
日時 平成25年3月3日(日)10時～
場所 市立中央公民館

問 申 (市)教育委員会 社会体育課(市民スポーツセンター内)
☎(34)2071

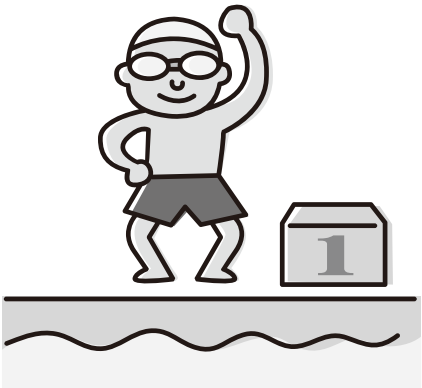
催し

冬休み早朝子供水泳教室

冬休み、水に親しみ水泳の基礎を身につける水泳教室を開催します。

日時 12月25日(火)～28日(金)
8時～9時(受付7時30分～)
場所 市立温水プール
対象者 小学生
定員 50人迄
(参加者が少ない場合は中止します)
受講料 4日間／1600円
(プール入館料、スポーツ保険料別途)
・プール入館料:210円／回
(回数券・会員券利用可)
・期間中のスポーツ保険料:200円
(既にスポーツ保険に加入している人は不要)

申込方法
所定の申込用紙に記入の上、受講料、保険料を添えて下記まで申し込みください。
(電話での受付はしません)
申込期間 12月10日(月)～21日(金)
受付時間 10時～16時



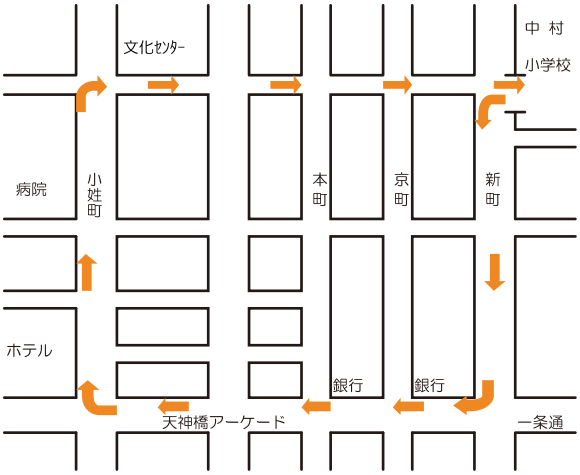
問 申 (財)四万十市体育協会事務局(市民スポーツセンター内)
☎(34)2071

催し

体育始め 新春はしりぞめ

日時 平成25年1月3日(木)
10時(受付:9時30分～)
※小雨決行。中止の場合は8時に、中村小学校玄関前に掲示します。
コース 約1200m
(中村小学校→新町→天神橋→小姓町→文化センター前→中村小学校)
参加定員 先着400人
参加方法 どなたでも参加できます。
当日、会場で受付します。(無料)
※大会中の事故については、主催者がかける1日傷害保険の範囲内のみでの対応となりますのでご注意ください。
※参加賞を用意しております。
主催:(市)教育委員会、(財)四万十市体育協会、(市)スポーツ推進委員会
協賛:四万十市民憲章推進協議会

コース図



問 (市)教育委員会 社会体育課(市民スポーツセンター内)
☎(34)2071

募集

青少年健全育成事業 たこ作り教室 ／ 新春たこあげ大会

昔から親しまれ伝えられてきた「和だこ」を作り、四万十川の風に乗せて楽しみましょう。みんな集まれ！

◎たこ作り教室

日　時　12月25日(火)13時～17時
場　所　市立中央公民館 2階 大ホール
対象者　小・中学生
（子どもさん一人でも、親子でも、おじいちゃん、おばあちゃんとでも参加できます）
募集人員　50人(先着順)
※定員になり次第締切
受付期間　12月21日(金)まで
直接または電話で申し込みください。

◎新春たこあげ大会

日　時　平成25年1月13日(日)
13時～15時
※雨天の場合は1月20日(日)に延期
当日天候が不順の場合は、10時までに決定します。電話で確認してください。
場　所　入田河川敷(四万十市キャンプ場)
対象者
参加は自由ですのでお気軽に会場においでください。(親子での参加大歓迎！)
ただし、審査対象は「自作だこ」や「和だこ」を持っている人となります。
※いずれも参加費は無料です。また、主催者側で傷害保険に加入しますが、保険以外の補償はありませんのでご了承ください。

問 申　(市)教育委員会 生涯学習課 ☎(34)7311

教室・講座

～男女共同参画社会推進事業 健康づくり講座～ボディートーク(Body-Talk)

「体」と「おしゃべり」をして、いち早く違和感をキャッチし、様々に体を揺すってほぐすと、だんだんと心もほぐれてくる。これが、ボディートークです。
いつでも、どこでも、誰とでも、一人でもできるものですが、今回は、「一人ほぐし」を中心に行います。体をほぐし、心もほぐして、すこやかな毎日を過ごすためにぜひご参加ください。

日　時
平成25年1月21日(月)～3月18日(月)
毎週月曜日 全8回(2月11日を除く)
19時～20時30分
※講師の都合により日程が変更になることがありますのでご了承ください。
場　所　働く婦人の家2階　和室
講　師　高橋郁子(ボディートーク協会)
対象者　市内に居住または勤務している女性
定　員　15人(定員になり次第締め切り)
受講料　無料
申込方法
平成25年1月10日(木)から本人に限り窓口・電話で受付
受付時間　9時～12時、13時～17時15分
(土・日・祝日を除く)

問 申　働く婦人の家　☎(34)6299

宝くじコンサート
大阪交響楽団演奏会

指揮　佐藤俊太郎　／　ピアノ　近藤嘉宏

すてきな音楽の贈り物を、あなたへ、愛する人へプレゼントしませんか。

12月17日(月)　開場　18:30　開演　19:00

会　　場　市立文化センター
一　　般　3,000円(当日3,500円)
高校生以下　1,500円(当日2,000円)
※宝くじの助成による特別料金となっています。

チケット販売所
市立中央公民館、文化センター、教委西土佐事務所、アピアさつき、サニーマート四万十店　ほか

問　(市)教育委員会 生涯学習課　☎(34)7311

教室・講座

第4回 男性の料理教室

ちょっとしたおもてなし料理に挑戦してみませんか。
ご家族やお友達に「すごい!!」と思われる料理を作ってみましょう♪

日　時　平成25年1月19日(土)
10時30分～13時
※講師の都合により日程等変更になることがありますのでご了承ください。
場　所　働く婦人の家 2階 調理室
内　容　～おもてなしメニュー～
《巻き寿司・お吸い物》
講　師　谷崎佐千代
対象者　市内に居住または勤務する男性
定　員　10人
材料費　600円
持ってくるもの　エプロン、筆記用具
申込方法　1月7日(月)から本人に限り窓口・電話で受付
※定員になり次第締め切り
受付時間　9時～12時、13時～17時15分
(土・日・祝日を除く)

問 申　働く婦人の家　☎(34)6299

教室・講座

四万十市雇用創造促進協議会 12月開催講座

募集種目	日　時	場　所	内　容	講　師	募集期間
◆加工技術力向上研修	12月7日(金) 14:00～16:00	新ロイヤルホテル四万十　4階 大文字	●フランス人・ステファンさんの四万十お茶講座その1 ～お茶の知識と日本茶の現状～	ステファン・ダントン氏(株式会社「おちゃらか」代表取締役)	12月6日(木)まで
◆加工技術力向上研修	12月10日(月) 13:00～15:30	かわらっこ	●え？バーベキューで地域おこし？	下城　民夫氏 (日本バーベキュー協会会長)	12月7日(金)まで
◆販売流通促進講座	12月12日(水) 15:00～17:00	市立文化センター 1階中会議室	●どうして材木屋がコーヒーを売るのか	熊谷　有記氏 (山一木材株式会社/KITOKURAS)	12月11日(火)まで

問 四万十市雇用創造促進協議会　☎(34)9570　FAX(34)9571
ホームページ　http://www.shimanto-koyo.com/

ご不明な点がありましたら、左記までお問い合わせの上お申し込みください。応募者多数の場合は先着順になります。

定期相談所

	日　時	場　所	相談内容	問い合わせ先
行政相談所	12月20日(木) 13時～16時	社会福祉センター	国や県、市の仕事に対する苦情や要望 《相談委員》武田二三生 ☎(35)6414 正木　卓夫 ☎(37)2560	(本庁)総務課 ☎(34)1804
無料農業経営相談 (偶数月第4木曜日開催)	12月27日(木)	JA高知はた本所 3階	農業に関する借入相談、経営全般に関するお悩みなどの相談(要事前予約)	日本政策金融公庫高知支店 農林水産事業 ☎088(825)1091

募集

自衛隊 貸費学生募集

制度の概要
現在、大学および大学院で、理学または工学を専攻している学生で、卒業(修了)後、その専攻した学術を活かし引き続き自衛隊に勤務する意思を持つ人に対し防衛省より学資金が貸与されます。

学資金の貸与額
毎月54000円
(平成24年4月1日現在)
※但し卒業後、規定の期間を自衛隊で勤務した場合は、学資金の全額または一部の返還免除

応募資格
大学理学部・工学部の3、4年次の人。または大学院(専門職大学院を除く)修士課程で理学・工学を　専攻している人
(平成25年4月1日現在)

受付期間
12月1日(土)～平成25年1月11日(金)

試験日　平成25年1月26日(土)

試験場所
陸上自衛隊海田市駐屯地(広島県)
陸上自衛隊伊丹駐屯地(兵庫県)
海上自衛隊徳島航空基地(徳島県)
およびその他の指定された駐屯地

試験種目
筆記試験(英語、数学、物理、化学および小論文)
口述試験、身体検査

問 申 自衛隊四万十地域事務所　☎(35)3096

市民アンケート調査 ご協力のお願い

市では合併後約8年が経過し、新たな課題や社会情勢の変化に対応するため、現在、新たなまちづくりの指針となる中長期計画の策定を進めています。

今回の市民アンケート調査は、行政の施策に対する満足度・重要度などをお尋ねし、市民意識を把握することにより、新たなまちづくりに向け、役立てていくものです。お忙しいところ恐れ入りますが、アンケートの目的をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

アンケート概要
住みよさや将来のまちづくりの方向性、優先的に取り組む事業など33項目(無記名回答)

対象者
無作為に抽出した18歳以上の市民2000人

調査方法　郵送による配布、回収

実施時期
発送日　12月上旬
提出期限　12月20日(木)

※調査の集計結果は、広報「四万十」で公表します。アンケートは無記名式で、個人情報が特定されることはありません。

【問い合わせ先】
(市)企画広報課 企画調整係
☎(34)1129

水道量水器取替工事

計量法による検定有効期間満了により、中村地区の水道量水器(メーター)を下記のとおり交換します。市民の皆さまの料金負担はありませんので、ご不在の場合でも、メーター交換させていただきます。
交換時には、ご迷惑をお掛けしますが何卒ご協力お願いします。

■取替地区
中村丸の内、ハイランド、中村東町、中村本町、中村京町、中村桜町、中村於東町、中村新町と岩田地区の各一部

■工　期　平成25年3月15日まで

【問い合わせ・申込先】
(市)水道課 工務係　☎(34)1711

ふるさと応援団員からの便り

ソウルで思うこと

中島丈博
東京都在住
下田出身
昭和10年生まれ

10月29日、田内千鶴子生誕百年記念の催しがソウルのプラザホテルで行われました。

田内千鶴子さんは韓国名を尹鶴子（ユン・ハクチャ）といい、戦時中の朝鮮総督府長官の娘として父君の赴任とともに木浦（モッポ）に渡り、キリスト教会で知り合った当時乞食大将の異名のあった尹至浩と結婚します。孤児たちの保護活動のために家々の門を叩いては食料などの施しを乞う尹至浩を、木浦の民衆は多少の揶揄を籠めて、乞食大将と呼んだのです。

結婚後、ふたりは孤児院『共生園』を立ち上げ、孤児たちの育成に尽くします。そして朝鮮動乱の只中で夫が行方不明になった後も、千鶴子さんは孤児院を守り続け、1967年10月31日、55才の自らの誕生日に天に召されるまで、不器用なまでに地道なその活動は続けられ、木浦市葬となったその葬儀には多くの市民が参加して彼女の死を惜しんだのです。

1997年、彼女を主人公とした『愛の黙示録―尹鶴子の生涯』が戦後初の日韓合作映画として石田えりさん主役で製作され、私が千鶴子さんと同じ高知県出身者ということもあって、子息の尹基氏から依頼されて脚本を執筆したという経緯があり、今回の生誕百年記念の行事に招待されたというわけです。

田内千鶴子さんの凄いところは、基氏を含めた自分の子供たちを孤児らとまったく区別することなく同等に育てたということです。

「祭りの準備」上映会
（9月30日、文化センター）

真に孤児たちの母となるためには、血で繋がった母子の感情を捨てなければならないと決意し、彼女はそれを実行するのです。

そのために基氏らは虱が蠖く孤児たちのベッドで寝かせられ、全く同じ食事、同じ衣服で何らの特別扱いは許されなかった。それでも実の親子なのだから、時には母親らしい視線、言葉を求めるのですが、一切投げ与えられなかったと言います。

そこまで徹底して多くの孤児の母としての存在でありたい。血の繋がりだけを重視するのではなく、広く深く孤児たちを愛したいという彼女の熾烈な思いが、後に韓国三千人孤児の母と謳われるようになったのでしょう。そして最後に「梅干が食べたい」と言い残して亡くなったときは、紛れもなくひとりの日本人の女に還ったのです。

日韓の問題も領土、領土と言っているうちは血縁のだけに向けられた偏狭な愛と同じではないだろうか、ほんとうに隣国や隣人と手を繋ぎ合って生きて行くためには、広く寛容な愛で結ばれなければならないのではないか、そんな教訓を千鶴子さんの生き方は教えてくれているのではないでしょうか。

尹基氏は『愛の黙示録』の姉妹編として、この次は父尹至浩を主人公として青春時代から失踪までを辿りながら、園の子供たちを主軸に押し出した映画を製作したいと、開会式の後の夜の懇談会で発表されました。脚本を依頼された私は光栄に感じながらも頭を悩ましているところです。

（脚本家）

山崎咲和さん 陸上競技で5大会制覇

山崎咲和さん（南小学校、2年）が県下に前例のない5大会すべてにおいて1位を獲得するという好成績をおさめました。

小学1年生の時に宿毛JACに入部以来メキメキと実力をつけ、先の高知県小学生陸上大会においては、高知県新記録・大会新記録を樹立しました。小学生で学年を問わず5大会制覇は初めての快挙であり、県陸上関係者からも「将来楽しみな子どもが出た」と賞賛されています。

・第27回高知市小学生陸上競技大会（4月21日）
女子1・2年生の部 50m 第1位 9秒31
・日清食品カップ第28回全国小学生陸上競技高知県選考会（7月16日）
女子1・2年生の部 50m 第1位 8秒87
※全国小学生大会は5・6年生からです。
・第10回だるま夕日宿毛カップ小学生陸上競技大会（8月18日）
女子1・2年生の部 50m 第1位 8秒91
・第29回高知県小学生陸上競技大会（10月14日）
女子1・2年生の部 50m 第1位 8秒63
（県新記録・大会新記録）
・第24回幡多地区小学生陸上競技大会（11月3日）
女子2年生の部 50m 第1位 9秒02

お誕生おめでとう

（平成24・10・6～11・5届分）

住所	赤ちゃん	保護者
中村一条通	高見 栄志	恭平
中村東町	佐竹 晴翔	大
右山元町	平岡 莉空	晃一
駅前町	田所 颯真	泰男
駅前町	荒谷 日陽	祐一
安並	二宮 梓	雄平
佐岡	森 大地	卓也
古津賀	松岡 流稀亜	浩司
古津賀	平田 大和	雅史
古津賀	宮村 紗央	拓
具同	岩松 亮誠	誠心
具同田黒	江口 優斗	剛
竹島	川添 美妃	和洋
下田	藤本 莉々花	和久
下田	部府 瑛	良輔
岩田	岡﨑 旺亮	正寛
岩田	山中 楓	靖
西土佐江川崎	濵田 祥永	兆城
西土佐江川	川上 修平	哲治

ご冥福をお祈りします

（平成24・10・6～11・5届分）

住所	氏名	享年
中村大橋通	濵岡 幸子	86
中村大橋通	篠田 惠子	87
中村丸の内	竹内 勝子	78
中村本町	細川 裕之	52
中村一条通	山本 福惠	91
中村一条通	中島 亮夫	67
右山五月町	竹田 均	81
右山	阿部 松枝	92
佐岡	松本 重信	78
具同	井手 益子	96
具同	高橋 伸夫	56
具同	岡村 悦子	70
具同田黒	中澤 俊郎	73
坂本	秋森 貞猪	83
実崎	宮﨑 治	65
深木	町田 ヨシヱ	91
津蔵渕	植木 平作	63
井沢	佐田 靜夫	80
井沢	堺 義子	85
下田	小川 小浪	98
平野	井上 義幸	73
岩田	今倉 武夫	84
佐田	井上 昌子	86
手洗川	倉本 保野	99
常六	敷地 耀子	69
西土佐江川崎	堺 清子	90
西土佐用井	竹﨑 進	81

「お誕生おめでとう」、「ご冥福をお祈りします」のコーナーへの掲載については、ご家族の希望を聞いて掲載することとしています。

掲載を希望される場合は、（本庁）市民課 ☎（34）1113 まで必ずご連絡ください。

寄附のお礼

10月23日(火)、四国電力株式会社中村支店さまから公衆用街路灯14灯の寄付をいただきました。

これは「平成24年度よんでんグループふれあい旬間」(10月20日～31日)にあたり、社会貢献活動の1つとして行なわれたものです。

いただいた街路灯は、通学路の安全確保、地域住民の防犯対策等に利用させていただきます。ありがとうございました。

11月13日、小椋茂昭さん(井沢)から、20万円のご寄附をいただきました。

これは、小椋さんが秋の叙勲により瑞宝単光章を受章したことを記念し、市の社会福祉の増進に役立てて欲しいと寄附されたものです。

いただいた寄附金は、四万十市社会福祉基金へ積み立てし、社会福祉事業のために活用させていただきます。ありがとうございました。

人が人らしく

★人権さまざま★ 92

日本ペンクラブは、8月30日、専修大学と共催で「脱原発を考える会」をもちました。

原発存続の是非については、政治・経済の分野なので、私には触れる能力をもちあわせておりません。しかしながら、当日、チェルノブイリ原発の視察報告がなされ、余りにも衝撃的内容でしたので、今回はそれを取り上げてみたいと思います。

その原発は今から26年前の4月26日大爆発を起こしました。一瞬のうちに原子炉が破壊され、火災が発生、消火のために総計5000トンの砂や鉛がヘリコプターで投下され、14日後、ようやく火災は収まりました。(この事故により、約8000キロも離れた日本でも、野菜、水、母乳などから放射能が検出されたという ニュースが流されました。)

原発から35キロ離れたプリチャチ市は、当時5万人の人々が住んでいたそうですが、今は廃墟になっています。原発を中心に30キロ圏内は今も立ち入り禁止区域で、家一軒見あたりません。建物も何もかも土に埋めてしまったといいます。汚染により、500以上の町や村が地図の上から姿を消しました。

ウクライナ政府の発表によると、放射能健康被害者は230万人に及んでいるといいます。

ある若い母親の2人の子は、長女は頭に瘤がついて生まれ先天性筋肉マヒ。長男は発達障害、母親はガンに苦しみ、父親は耐えきれなくて飲んだくれになったという家の報告もありました。今も増え続ける子供たちの甲状腺ガン、奇形児の出生は、めずらしくないそうです。

被災地を逃れてきた人々の中には、新しい地域に馴染めず、元の居住地に戻ったりする人もいて、彼らはサマショール(わがままな人)とよばれ、差別を受けているといいます。

そんな廃墟の場所を見たいと、わざわざロケをしたり、観光地として売り出したりして、被害はますます増えているともいわれます。目には全く見えない現象が、僅かたった一カ所の爆発事故で、4分の1世紀もつづく現実に、身の毛のよだつ思いで聞いたことでした。

この文章は、視察団のひとり中村敦夫さんの報告をもとにしましたが、全てを纏めきることはできませんでした。

四万十市人権啓発講師　山本衛

広報 四万十 12 2012 No.92

当直医

※当番については変更になる場合がありますので、各医療機関へ事前に電話でお問い合わせください。

12月 9日(日)	正木整形外科	☎(34)5252
16日(日)	市民病院	☎(34)2126
23日(日)	佐々木整形外科	☎(34)7177
24日(月)	幡多病院	☎(34)6211
30日(日)	さたけ小児科	☎(37)2255
31日(月)	森下病院	☎(34)2030
1月 1日(火)	木俵病院	☎(34)1211
2日(水)	大野内科	☎(37)5281
3日(木)	小原外科胃腸科	☎(35)0108
6日(日)	市民病院	☎(34)2126

人のうごき ~10月末日現在~

( )内は、前月との差

総人口	35,977人(－ 4)	転入	90人
男	17,001人(13)	転出	73人
女	18,976人(－ 17)	出生	24人
世帯数	16,455戸(－ 3)	死亡	45人

幡多地区年末年始休日救急歯科診療当番医療機関

診療時間 9:00～12:00

12月30日(日)	岡村歯科医院	四万十市西土佐江川崎2420-1 ☎(52)1063
12月31日(月)	カタクラ歯科	宿毛市片島15-21 ☎0880(65)5125
1月 1日(火)	楠井歯科診療所	土佐清水市本町10-6 ☎0880(82)3188
1月 2日(水)	北代歯科	四万十市中村小姓町6 ☎(34)1152
1月 3日(木)	芝崎歯科医院	幡多郡黒潮町入野2940-1 ☎0880(43)1202

日直指定水道業者

●水道料金は口座振替で●

12月 8日(土)	溝渕設備	☎(34)3734
9日(日)	森下住宅器機	☎(34)4855
15日(土)	土居水道工事店	☎(32)1095
16日(日)	中村水道工事センター	☎(35)4323
22日(土)	㈱中村住設	☎(34)3621
23日(日)	㈲大杉設備工業	☎(34)2324
24日(月)	㈲福永工業	☎(35)5996
29日(土)	㈲カキタニ設備	☎(33)0660
30日(日)	岡崎プロパン㈱	☎(35)3458
31日(月)	㈲夕部設備	☎(37)3383
1月 1日(火)	西南管工	☎(36)2554
2日(水)	㈱奥宮工業	☎(37)5151
3日(木)	㈲大同設備	☎(35)4879
5日(土)	㈲山下建設	☎(33)0653
6日(日)	豚座建設㈱	☎(34)6031

水道の使用を開始・中止するときは…

引っ越しなどで水道の使用を開始、中止または使用者の名義を変更するときは、事前に下記までご連絡をお願いします。

【問い合わせ・連絡先】
(本　　庁)水　道　課　☎(34)1711
(総合支所)産業建設課　☎(52)1111

12月実施の統計調査

【問い合わせ先】(県)総務部 統計課　☎088(823)9344

調査名	該当地区	実施状況
家計調査	一条通3～5丁目、京町、中村新町、於東町	実施中
労働力調査	安並、東町1丁目	準備調査
毎月勤労統計調査(二種)	西土佐	実施中

編集後記

「四万十のおきゃく」(5頁)を取材。商店街の中に畳を敷くというスタイルに驚くと同時に、非常に面白い方式だと思いました。当日フェイスブックでその模様を紹介しましたが、他の記事と比べて段違いに多くの方々から反響をいただき、さらに驚きました。(誉也)

市公式フェイスブックページ開設!

市ではこのたび、市ホームページに「四万十市公式フェイスブックページ」を開設しました。

ホームページとあわせて、観光やイベント情報、四季折々の風物詩、その他本市の魅力を高めることができる情報をよりリアルタイムに発信していきます。

当ページは、フェイスブックに登録していない人でも閲覧可能ですので、ぜひご覧ください。

■アカウント情報
・アカウント名:四万十市役所
・URL:http://www.facebook.com/ShimantoCity

■コメントへの対応
・当ページでは利用者からコメント等があってもそれに対するコメントや返信等は原則行いません。
・本市へのご意見・ご要望は四万十市公式ホームページの「広聴メール」をご利用ください。

※当ページの運用方針については、市ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】(市)企画広報課 秘書広報室 広報公聴係　☎(34)1810

「広報四万十」1月号は1月5日(土)発送予定です

■発行/四万十市　■編集/企画広報課
〒787-8501
高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地
TEL.34-1111(代表)　広聴FAX.0120-459787
URL http://www.city.shimanto.lg.jp/
E-mail kouhou@city.shimanto.lg.jp

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。